

【国語科】

現代文B

履修学科	普通科（特別進学、進学コース）、美デ 科、商業科（進学ライセンスコース）
履修学年	第2学年
履修形態	必修
履修単位	3単位 特別進学のみ2単位
教科書	精選現代文B 新訂版（大修館書店）

学期・月		項目	ねらい・教材など
前期中間	4	○評論（一） ○小説（一）	○文章の構成に着目し、筆者の主張を読み取る。 ○主な常用漢字について使い方を理解する。 ○人物の心情を理解しながら文章を読む。
	5		
	6		
前期末	7	○評論（二）（三） ○詩	○読むことを通して語彙を豊かにしようとする態度を身につける。 ○詩歌における技法、表現の特色などを理解する。
	8		
	9		
後期中間	10	○評論（四） ○小説（二）	○文章の構成や展開を確かめ、筆者の意図を捉える。 ○文や文章の組み立て、語句の意味、用法及び表記の仕方などを理解し、語彙を豊かにする。 ○文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わう。
	11		
学年末	12	○評論（五） ○小説（三）	○文章の構成や展開を確かめ、内容や表現の仕方について評価しようとする。 ○小説の世界を、想像力豊かに読み味わおうとする態度を身につける。 ○叙述に即して人物の心情を読み取る。
	1		
	2		
	3		

評価の割合	考查点 70% 平常点 30%				
考查の実施	年4回実施します。				
平常点の評価 (30点)	主な評価内容	評価の観点			
		関心・意欲 態度	思考・判断 表現	技能	知識・理解
	1 授業態度	○		○	
	2 出席状況	○			
	3 課題提出	○	○	○	○
4 小テスト	○	○	○	○	
留意事項	使用する補助教材 ○漢字「常用漢字の1・2トライ」(浜島書店)				

【国語科】

現代文B

履修学科	普通科(未来創造コース、保育コース)、 商業科(情報ビジネスコース)
履修学年	第2学年
履修形態	必修
履修単位	3単位
教科書	新編現代文B (教育出版)

学期・月		項目	ねらい・教材など
前期中間	4	○随筆 ○小説1	○文章の構成に着目して要旨を捉える。 ○具体例を整理し、論の展開にしたがい筆者の考えを理解する。 ○登場人物に関して、その思いや心の変化、人物像を捉える。 ○小説における表現技法について理解を深める。
	5		
	6		
前期期末	7	○評論1 ○俳句・短歌 ○表現	○筆者の問題意識や論理の展開を読み取る。 ○出来事の展開をふまえ、その状況と人物の心情を捉える。 ○繰り返し音読してリズムを味わい、短歌や俳句に描かれた情景や心情を豊かに想像する。 ○情報への接し方と情報を発信する方法を学ぶ
	8		
	9		
後期中間	10	○小説2 ○評論2	○登場人物の関係を捉え、それぞれの言動にある心の動きを読み取る。 ○登場人物の心理に関わる地の文や会話の言葉のニュアンスの表現上の効果を読み味わう。 ○文章の構成を捉え、段落と段落との関係や表現技法を理解する。
	11		
後期期末	12	○小説3 ○評論3 ○表現	○登場人物の心情・思考を読み取り、人間の心や生き方について考えを深める。 ○具体例をあげる意図を明らかにし、筆者の主張と根拠を読み取る。 ○具体例や比喩に着目して抽象的な用語の意味を捉え、論旨を自分の思考と照らし合わせながら理解する。 ○他者に理解されやすい文章の書き方を学ぶ。
	1		
	2		
	3		

評価の割合	考查点 70% 平常点 30%				
考查の実施	年4回実施します。				
平常点の評価 (30点)	主な評価内容	評価の観点			
		関心・意欲 態度	思考・判断 表現	技能	知識・理解
	1 授業態度	○			
	2 出席状況	○			
	3 課題提出	○	○	○	○
4 小テスト	○	○	○	○	
留意事項	使用する補助教材 ○漢字：「常用漢字の1・2トライ」(浜島書店)				

【国語科】

国語表現

履修学科	普通科(未来創造コース、保育コース)
履修学年	第2学年
履修形態	必修
履修単位	2単位
教科書	国語表現(大修館書店)

学期・月		項目	ねらい・教材など
前期中間	4	○書いて伝える	○ わかりやすく読みやすい、整った文章を書く能力を身につける。 ○ 長すぎる文を避け、わかりやすい文にする方法を理解する。
	5		
	6		
前期期末	7	○メディアを駆使する	○ 相手や目的に応じて適切な形式を選び、通信文を書く。 ○ 相手に応じた適切な言葉遣いや対応のしかたを理解する。
	8		
	9		
後期中間	10	○声とコミュニケーション	○ 聞くこと、話すこと、伝え合うことを見つめ直し、コミュニケーションについて新たな発見をする。 ○ コミュニケーションの楽しさを感じる。
	11		
	12		
後期期末	1	○会話・議論・発表	○ 文書を読み、考えたことについて議論をしたり発表したりする。 ○ 場面にふさわしい言葉遣いを考える。
	2		
	3		

評価の割合	考查点70% 平常点30%				
考查の実施	前期中間・前期期末・後期中間・学年末				
平常点の評価 (30点)	主な評価内容	評価の観点			
		関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
	1 授業態度	○	○	○	○
	2 出席状況	○			
	3 課題提出	○	○	○	○
4 小テスト	○	○	○	○	
留意事項					

【国語科】

古 典 B

履 修 学 科	普通科 (特別進学、進学・私立文)
履 修 学 年	第2学年
履 修 形 態	必修
履 修 単 位	2単位
教 科 書	精選古典B改訂版 (大修館書店)

学期・月		項 目	ねらい・教材など	
前 期 中 間	4	【古文編】 ○説話	○古典の内容を展開に即して的確にとらえる。 ○昔の言葉と現代の言葉とのつながりを理解する。 ○古典の語句の意味、文の構造を理解する。 ○作者のものの見方、感じ方、考え方を理解する。	
	5	○随筆 (1)		
	6	【漢文編】 ○故事成語		
前 期 期 末	7	【古文編】 ○物語 (1)		○文章に現れた人間や社会に対する考え方を読み取り、理解を深める。 ○作中の人物像についての認識を深め、心情を読み取る。 ○詩人たちの人生観や自然観について認識を深める。
	8	○随筆 (2)		
	9	【漢文編】 ○漢詩		
後 期 中 間	10	【古文編】 ○物語 (2)	○文章に表れた人間の考えや感情を読み取り、ものの見方、考え方を深める。 ○文学作品を鑑賞する能力を高める。 ○さまざまな人間の生き方についての考えを深める。	
	11	○日記 【漢文編】 ○思想—儒家		
後 期 期 末	12	【古文編】 ○物語 (3)		
	1	○和歌・歌謡・俳諧		
	2			
	3	【漢文編】 ○小説		

評価の割合	考查点70% 平常点30%				
考查の実施	年4回実施します。				
平常点の評価 (20点)	主な評価内容	評価の観点			
		関心・意欲 態度	思考・判断 表現	技能	知識・理解
	1 授業態度	○		○	
	2 出席状況	○			
	3 課題提出	○	○	○	○
4 小テスト	○	○	○	○	
留意事項	使用する補助教材 ○漢文：「新徹底理解高校漢文」、「新徹底理解高校漢文ワーク」(東京書籍) ○古文：「新精選古典文法」、「新精選古典文法演習ノート」(東京書籍)				

【地歴公民科】

世界史 A

履修学科	普通科, 商業科, 美術・デザイン科
履修学年	第3学年・第2学年(特別進学)
履修形態	必修
履修単位	2単位
教科書	「世界の歴史」(東京書籍)

学期・月		項目	ねらい・教材など
前期中間	4	世界史へのいざない	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校社会科で学んだ日本列島の歴史をもとに、日本と世界のつながりについて振り返る。 ・中国を中心とする東アジア、一神教の聖地である西アジア、そしてヨーロッパの歴史を整理し、古くから交流しあってきたことを学ぶ。
	5	第1部 近・現代世界史の背景	
	6	序章 古代文明の成立 第1章 ユーラシアの諸地域世界	
前期末	7	第2部 成熟するアジアと 世界へむかうヨーロッパ	<ul style="list-style-type: none"> ・大航海時代に続く西欧諸国の世界各地への進出、支配の展開という形で、真の意味での世界の一体化が始まる背景を理解する。 ・市民革命や産業革命による近代化がアメリカ大陸やアジア世界など、多くの地域にも影響を与えたことを理解する。
	8	第2章 アジア諸帝国の繁栄とヨーロッパ	
	9	第3章 大西洋世界の変容とその波及	
		第4章 産業化社会の拡大と成熟	
後期中間	10	第5章 アジア諸国の変貌と日本	<ul style="list-style-type: none"> ・アジアの近代がヨーロッパの進出によって始まったことを理解する。 ・産業革命の広がりや植民地獲得競争の激化による欧米の帝国主義の動きに対する民族の自由と自決を求める民族主義(ナショナリズム)の動きを理解する。
	11	第3部 現代の世界と日本 第6章 帝国と民族の時代	
後期末	12	第7章 二つの世界大戦の時代	<ul style="list-style-type: none"> ・二つの世界大戦の原因や政治・経済・国際関係のお変遷についての的確な整理と理解を深める。 ・大戦後の冷戦構造、植民地からの独立と第三世界の勢力・発展について現代の問題点との関係を理解する。
	1	第8章 冷戦と民族独立の時代	

評価の割合	筆記テスト70%(点)相当 平常点(下記評価)30%(点)相当 計100%(点)				
考査の実施	前期中間・期末、後期中間・期末(年4回)				
平常点の評価 (30点)	主な評価内容	評価の観点			
		関心・意欲 態度	思考・判断 表現	技能	知識・理解
	1 授業態度	○	○		○
	2 出席状況	○			○
	3 課題提出	○	○	○	○
4 小テスト	○	○		○	
留意事項	◇ 教科書の他、副教材として図説も使用しますので、忘れずに持ってきて下さい。				

【地理・歴史科】

日本史 B

履修学科	普通科
履修学年	第2学年（進学文系・特別進学）
履修形態	選択
履修単位	3単位
教科書	「新日本史 B 改訂版」（山川出版社）

学期・月		項目	ねらい・教材など
前期中間	4	1章 日本文化のあけぼの	旧石器文化、縄文文化及び弥生文化の時代を経て、律令国家が成立する過程、東アジア世界との関係、文化の特色とその成立について考える。
	5	2章 古代国家の形成	
	6		
前期期末	7	3章 古代国家の展開	律令国家の展開と推移、東アジア世界との関係の変化、荘園・公領の動きや武士の台頭など諸地域の動向に着目して、文化の特色とその成立の背景及び中世社会の萌芽について考える。
	8		
	9	4章 宮廷貴族の成立	
後期中間	10	5章 武家政権の成立	武士と土地支配と公武関係、宋・元などとの関係、仏教の動向に着目して、中世国家の形成過程や社会の仕組み、文化の特色とその成立の背景について考える
	11		
後期期末	12	6章 武家社会の展開	日本の諸地域の動向、日明貿易など東アジア世界との関係、産業経済の発展、庶民の台頭と下剋上、武家文化と公家文化のかかわりや庶民文化の萌芽に着目して、中世社会の多様な展開、文化の特色とその成立の背景について考える。
	1		
	2		
	3		

評価の割合	考查点 70% 平常点 30%				
考查の実施	前期中間考查・前期期末考查・後期中間考查・後期期末考查				
平常点の評価 (30点)	主な評価内容	評価の観点			
		関心・意欲 態度	思考・判断 表現	技能	知識・理解
	1 授業態度	○	○		○
	2 出席状況	○			○
	3 課題提出	○	○	○	○
4 小テスト	○	○		○	
留意事項	◇ 授業では、板書やプリント等を併用しますので、ノートや綴じることのできるファイルを用意して下さい。 ◇ 教科書の他、副教材として図説も使用しますので、忘れずに持ってきて下さい。 ◇ 授業への取り組み姿勢は、授業態度、ノート提出、発表の状況などを評価の対象とします。				

【地理歴史科】

地理 B

履修学科	普通科
履修学年	第2学年(進学文系, 特別進学文系)
履修形態	選択
履修単位	3単位
教科書	新詳地理B(帝国書院)

学期・月		項目	ねらい・教材など
前期中間	4	地誌的基礎データの復習 第Ⅰ部 さまざまな地図と地理的技能 1章 地理情報と地図 2章 地図の活用と地域調査	中学校社会科内容の習得確認 地図の種類とその利用について, 球体を地図に表現した場合の特性や, 時差の求め方を通して, 現代世界の地理的事象を捉え, 地理的技能を身につける。
	5		
	6		
前期期末	7	第Ⅱ部 現代世界の系統地理的考察 1章 自然環境	世界と日本の自然の特徴と人々の生活について, 地形や気候環境を概観する。
	8		
	9		
後期中間	10	第Ⅱ部 現代世界の系統地理的考察 1章 自然環境 2章 資源と産業	世界と日本の自然の特徴と人々の生活について, 地形や気候環境, 資源や産業を概観し, これによる災害の特徴を理解するとともに, 防災のあり方を考察する。
	11		
後期期末	12	2章 資源と産業	現代世界の資源・エネルギー問題を大観し, 世界の資源をめぐる問題, エネルギー生産や消費の抱える課題, 日本の資源・エネルギー問題を考察する。また, 世界の工業について, 工業の発達や立地, 世界の工業地域や, 世界の工業の現状と課題, 及び日本の工業の課題を考察する。
	1		
	2		
	3		

評価の割合	考查点 70% 平常点 30%				
考查の実施	前期中間・前期期末・後期中間・学年末				
平常点の評価 (30点)	主な評価内容	評価の観点			
		関心・意欲 態度	思考・判断 表現	技能	知識・理解
	1 授業態度	○	○		
	2 出席状況	○			
	3 課題提出	○	○	○	○
4 小テスト	○	○	○	○	
留意事項	新詳高等地図、新詳地理Bノート(以上帝国書院)の副読本を用いる。				

【公民科】

政治経済

履修学科	普通科, 商業科, 美術・デザイン科
履修学年	第2・3学年
履修形態	必修(2年普特進文系, 進学文系, 商進学ライセンス, 情報ビジネス/3年普通科, 美術・デザイン科)
履修単位	2単位
教科書	最新政治・経済(実教出版)

学期・月		項目	ねらい・教材など
前期中間	4	第1編 現代の政治 第1章 現代国家と民主政治	<ul style="list-style-type: none"> ・人権保障、国民主権、法の支配など、民主主義の原理やその発展について理解させる。 ・日本国憲法の成立過程をふまえ、憲法の三大原理を把握させる。
	5	第2章	
	6	日本国憲法と基本的人権	
前期期末	7	第2章 日本国憲法と基本的人権	<ul style="list-style-type: none"> ・日本国憲法における基本的人権の保障の内容を学習し、今日における日本国憲法の意義を理解する。
	8		
	9		
後期中間	10	第3章 日本の政治制度と政治参加	<ul style="list-style-type: none"> ・国会、内閣、裁判所さらには地方自治など日本の統治機構に関する理解を深め、またその課題について考察させる。
	11		
	12		
後期期末	1	第3章 日本の政治制度と政治参加	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の政党政治や選挙制度の特質を把握させるとともに、望ましい政治や参政のあり方について考察させる。 ・国際社会や国際法に関する基本的な理解を深め、国連をはじめ国際機関の役割について考えさせる。
	2	第4章 現代の国際政治	
	3		

評価の割合	考查点 70% 平常点 30%				
考查の実施	前期中間・前期期末・後期中間・学年末				
平常点の評価	主な評価内容	評価の観点			
		関心・意欲 態度	思考・判断 表現	技能	知識・理解
	1 授業態度	○	○		○
	2 出席状況	○			○
	3 課題提出	○	○	○	○
4 小テスト	○	○		○	
留意事項					

【地歴公民科】

日本史A

履修学科	普通科, 商業科, 美術・デザイン科
履修学年	第2学年(進学文系・特進は除く)
履修形態	選択
履修単位	2単位
教科書	「高等学校改訂版日本史A」人・くらし・未来(第一学習社)

学期・月	項目	ねらい・教材など
前期中間 4 5 6	第1章 近代国家の形成と国際関係の推移 第1節 近代への胎動 1～4 第2節 明治維新 1～5 第3節 近代国家の確立 1～5	わが国の近現代の歴史の展開を地理的条件や世界の歴史と関連付け、現代の課題に着目して考察させることによって、歴史的思考力を培い国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。近代の萌芽や欧米諸国のアジア進出、文明開化などに見られる欧米文化の導入。
	第3節 近代国家の確立 6～9 第4節 対外関係の変化 1～4 第5節 政党政治の展開 1～3	自由民権運動と立憲体制の成立に着目して、開国から明治維新を経て近代国家が形成される過程について考察させる。条約改正や日清・日露戦争前後の対外関係の変化、政党の役割と社会的な基盤に着目して国際環境や政党政治の推移について考察させる。
	第2章 近代産業の発展と两大戦をめぐる国際情勢 第1節 近代産業の発展と社会運動の展開 1～4 第2節 国民生活の変化と文化 1～4 第3節 第一次世界大戦と日本 1～4	日本における産業革命の進行とそれに伴う社会のや国民生活の変化、諸国家間の対立や協調関係と日本の立場、国内の経済、社会の動向、アジア近隣諸国との関係に着目して、世界大戦とその間の内外情勢の変化について考察させる。
後期中間 10 11	第4節 第二次世界大戦と日本 1～11 第3部 現代の日本と世界 第1章 現代の日本と世界 第1節 日本の再出発 1～6 第2節 独立後の政治と対外関係 1～10	第二次世界大戦の勃発と当時の日本をとりまく国際情勢や日米交渉の決裂から太平洋戦争に至る経緯について考察させる。さらに戦時体制下における経済の統制により、国民生活や国民意識がどのように変化したかを把握させる。
後期末 12 1 2 3		

評価の割合	筆記テスト70%(点)相当 平常点(下記評価)30%(点)相当 計100%(点)				
考査の実施	前期中間・期末、後期中間・期末(年4回)				
平常点の評価 (30点)	主な評価内容	評価の観点			
		関心・意欲 態度	思考・判断 表現	技能	知識・理解
	1 授業態度	○	○		○
	2 出席状況	○			○
	3 課題提出	○	○	○	○
	4 小テスト	○	○		○
留意事項					

【地理歴史科】

地理 A

履修学科	普通科, 商業科, 美術・デザイン科
履修学年	第2学年 (進学文系・特進は除く)
履修形態	選択 (普未来, 保育, 進学理系・看護系)
履修単位	2単位
教科書	新地理 A (帝国書院)

学期・月		項目	ねらい・教材など
前期中間	4	1部 世界の諸地域や地図からとらえる現代世界	<ul style="list-style-type: none"> ・経度の違いと時差の仕組みについて具体的な事例をふまえて理解する。 ・地図の様々な図法について学習し、利用方法を理解する。 ・国家の領域、国境の形態などを考察する。 ・貿易、交通、通信、観光などの世界的な結びつきについて理解する。
	5	1章 地球儀や地図からとらえる現代世界	
	6	<ul style="list-style-type: none"> ・地球上の位置と国家 ・グローバル化が進む世界 	
前期期末	7	2章 人間生活を取り巻く環境	<ul style="list-style-type: none"> ・山地、平野、海岸、氷河など、様々な地形の種類、特徴、人々の生活との関連を理解する。 ・様々な気候区分を学習し、その特徴とそこで生活する人々とのかかわりについて考察する。 ・農業、工業の発達と人々との生活のかかわりや民族・宗教の特徴、分布について理解する。
	8	<ul style="list-style-type: none"> ・人々の生活と地形 	
	9	<ul style="list-style-type: none"> ・人々の生活と気候 ・人々の生活と産業・文化 	
後期中間	10	3章 世界の諸地域の生活・文化	<ul style="list-style-type: none"> ◎世界各国の自然、文化、歴史などを学習し、各地域の人々の生活の特徴を理解する。 ・アジア諸地域の農業や工業などの産業の発達による地域変化について理解する。 ・EUについて考察し、農業や工業などの産業の発達、ヨーロッパ全体の変化について理解する。
	11	<ul style="list-style-type: none"> ・中国の生活・文化 ・韓国の生活・文化 ・東南アジアの生活・文化 ・ヨーロッパの生活・文化 	
後期期末	12	3章 世界の諸地域の生活・文化	<ul style="list-style-type: none"> ・アメリカ、オーストラリアの自然、農業、工業を学習し、人々の生活への影響を考察する。 ・わが国の自然と災害について具体的例をとおして学び、防災対策について考える。 ・具体的な対策について、様々な写真や地図を参考にしながら話し合いを深める。
	1	<ul style="list-style-type: none"> ・アメリカの生活・文化 ・オーストラリアの生活・文化 	
	2	2部 身近な地域の課題	
	3	<ul style="list-style-type: none"> ・身近にあるさまざまな地図 ・日本の自然環境と防災 	

評価の割合	中間考査 筆記 10割 期末考査・学年末考査 筆記 7割 平常点 3割				
考査の実施	前期中間・期末考査 後期中間・期末考査				
平常点の評価 (30点)	主な評価内容	評価の観点			
		関心・意欲 態度	思考・判断 表現	技能	知識・理解
	1 授業態度	○	○		
	2 出席状況	○			
	3 課題提出	○	○	○	○
4 小テスト	○	○	○	○	
留意事項	標準高等地図、新地理Aノート(以上帝国書院)の副読本を用いる。				

【数学科】

数学Ⅱ

履修学科	普通科（進学、特別進学）
履修学年	第2学年
履修形態	必修
履修単位	4単位
教科書	数学Ⅱ Standard（東京書籍）

学期・月	項目	ねらい・教材など
前期中間	4 1章 方程式・式と証明 1節 整式・分数式の計算 1 整式の乗法と因数分解 2 二項定理 3 整式の除法 4 分数式とその計算	<ul style="list-style-type: none"> ・3次の乗法公式や因数分解の公式を用いて式の展開や因数分解をすることができるようにする。 ・整式の除法や分数式の四則計算について理解し計算をすることができるようにする。 ・数を複素数まで拡張する意義を理解し、複素数の四則計算や高次方程式の解を因数定理などを用いて求めることができるようにする。 ・座標を用いて、平面上の線分を内分する点、外分する点の位置や2点間の距離を表すことができるようにする。
	5 2節 2次方程式 1 複素数とその演算 2 解の公式 3 解と係数の関係	
	6 3節 高次方程式 4節 式と証明 2章 図形と方程式 1節 点と直線 1 直線上の点の座標 2 平面上の点の座標	
前期期末	7 3 直線の方程式 4 2直線の関係 2節 円 1 円の方程式 2 円と直線	<ul style="list-style-type: none"> ・座標平面上の直線や円を方程式で表し、それを円と直線の位置関係などの考察に活用することができるようにする。 ・不等式の表す領域を求めることができるようにする。 ・角の概念を一般角まで拡張する意義や弧度法による角度の表し方や扇形の面積の求め方などについて理解させる。
	8 3 2つの円の位置関係 3節 軌跡と領域	
	9 3章 三角関数 1節 三角関数 1 一般角 2 弧度法	
後期中間	10 3 三角関数 4 三角関数の性質 4 三角関数のグラフ 5 三角関数を含む方程式・不等式	<ul style="list-style-type: none"> ・三角関数について、相互関係などの基本的な性質や周期性をもつグラフの特徴について理解させる。 ・三角関数の加法定理を理解し、それを用いて2倍角の公式を導くことができるようにする。 ・指数を整数から有理数に拡張しても累乗が定義でき、指数法則が成り立つことを理解する。 ・対数の定義や性質を理解し、簡単な式の値を求めることができる。
	11 2節 加法定理 1 加法定理 2 加法定理の応用 3 三角関数の合成 4章 指数関数・対数関数 1節 指数関数 2節 対数関数	
学年末	12 5章 微分と積分 1節 微分係数と導関数 1 平均変化率 2 微分係数 3 導関数 4 導関数の計算	<ul style="list-style-type: none"> ・微分係数や導関数の意味について理解し、関数の値の増減や極大・極小を調べ、グラフの概形をかくことができるようにする。 ・不定積分及び、定積分の意味について理解し、不定積分や定積分を求めることができるようにする。 ・グラフで囲まれた図形の面積を求めることができるようにする。
	1 2節 導関数の応用 1 接線の方程式	
	2 2 関数の増減 3 関数の極大・極小 3 4 関数の最大・最小 5 方程式・不等式への応用 3節 積分 1 不定積分 2 定積分 3 定積分と面積	

評価の割合	考查点 70% 平常点 30%				
考查の実施	前期中間・前期期末・後期中間・学年末				
平常点の評価 (30点)	主な評価内容	評価の観点			
		関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	数学的な技能	知識・理解
	1 授業態度	○	○		
	2 出席状況	○			
	3 課題提出	○	○	○	
4 小テスト	○	○	○	○	
留意事項					

【数学科】

数学Ⅱ

履修学科	普通科（保育・未来創造）
履修学年	第2学年
履修形態	必修
履修単位	2単位
教科書	数学Ⅱ Standard（東京書籍）

学期・月		項目	ねらい・教材など
前期中間	4	1章 方程式・式と証明 1節 整式・分数式の計算 1 整式の乗法と因数分解 2 二項定理 3 整式の除法 4 分数式とその計算	<ul style="list-style-type: none"> ・3次の乗法公式や因数分解の公式を用いて式の展開や因数分解をすることができるようにする。 ・整式の除法や分数式の四則計算について理解し計算をすることができるようにする。 ・数を複素数まで拡張し、複素数の四則計算をすることができるようにする。 ・2次方程式の解の種類の判別及び解と係数の関係について理解できるようにする。
	5	2節 2次方程式 1 複素数とその演算 2 解の公式 3 解と係数の関係	
	6	3節 高次方程式	
前期期末	7	2章 図形と方程式 1節 点と直線 1 直線上の点の座標	<ul style="list-style-type: none"> ・因数定理を理解し、簡単な高次方程式の解を求めることができるようにする。 ・座標を用いて、平面上の線分を内分する点、外分する点の位置や2点間の距離を表すことができるようにする。 ・座標平面上の直線を方程式で表し、2直線の位置関係などの考察に活用する。
	8	2 平面上の点の座標 3 直線の方程式	
	9	4 2直線の関係	
後期中間	10	2節 円 1 円の方程式 2 円と直線 3 2つの円の位置関係	<ul style="list-style-type: none"> ・座標平面上の円を方程式で表し、それを円と直線の位置関係などの考察に活用することができるようにする。
	11	3節 軌跡と領域 1 軌跡とその方程式 2 不等式の表す領域 3 連立不等式の表す領域	
学年末	12	3章 三角関数 1節 三角関数 1 一般角 2 弧度法	<ul style="list-style-type: none"> ・図形を与えられた条件を満たす点の集合としてとらえ、それを通して、軌跡や領域についての理解を深める。 ・不等式の表す領域を求めることができるようにする。 ・角の概念を一般角まで拡張する意義や弧度法による角度の表し方や扇形の面積の求め方などについて理解させる。
	1		
	2 3		

評価の割合	考查点 70% 平常点 30%				
考查の実施	前期中間・前期期末・後期中間・学年末				
平常点の評価 (30点)	主な評価内容	評価の観点			
		関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	数学的な技能	知識・理解
	1 授業態度	○	○		
	2 出席状況	○			
	3 課題提出	○	○	○	
4 小テスト	○	○	○	○	
留意事項					

【数学科】

数学A

履修学科	商業科、美術デザイン科
履修学年	第2学年
履修形態	必修
履修単位	2単位
教科書	数学A Standard (東京書籍)

学期・月		項目	ねらい・教材など
前期中間	4	1章 場合の数と確率 1節 集合と場合の数	<ul style="list-style-type: none"> 集合の表し方、部分集合・共通部分・和集合・補集合などについて理解させる。 場合の数を求めるときの基本として、和の法則、積の法則、樹形図の適用、有用性を理解させる。 順列の意味を理解させ、それらの総数を求められるようにする。
	5	1 集合の要素と個数	
	6	2 数え上げの原則 3 順列	
前期期末	7	4 組合せ 2節 確率とその基本性質 1 事象と確率 2 確率の基本性質	<ul style="list-style-type: none"> 組合せの意味を理解させ、それらの総数を求められるようにする。 同様に確からしいことをもとに確率の定義を与え、確率の計算ができるようにする。 独立な試行の概念を導入し、独立な試行における事象の確率を求められるようにする。 反復試行を理解させ、これを用いた確率の計算ができるようにする。 条件つき確率の意味を理解し、簡単な場面について条件つき確率を求めることができるようにする。また、それを事象の考察に活用することができるようにする。
	8	3節 いろいろな確率 1 独立な試行の確率	
	9	2 反復試行の確率 3 条件つき確率	
後期中間	10	2章 整数の性質 1節 約数と倍数 1 約数と倍数、素因数分解 2 最大公約数と最小公倍数	<ul style="list-style-type: none"> 自然数の約数、倍数や割り算をしたときのあまりについて理解を深めさせる。 最大公約数と最小公倍数の性質について理解させる。 中学校で学んだ三角形と比の定理を復習し、理解を深める。また、三角形の内角の二等分線と比、外角の二等分線と比を理解させる。
	11	3章 図形の性質 1節 三角形と比 1 三角形と比	
学年末	12	2 三角形の重心・外心・内心 3 三角形の比の定理	<ul style="list-style-type: none"> 三角形の重心・外心・内心を定義し、それらの性質について理解させる。 円周角の定理、円周角と定理の逆について理解し、問題に生かせるようにする。円に内接する四角形の性質や四角形が円に内接する条件を理解する。 接線と弦のなす角の関係（接弦定理）、円の2本の弦に関して成り立つ定理（方べきの定理）を理解させる。
	1	2節 円の性質	
	2 3	1 円周角の定理 2 円に内接する四角形 3 円と接線 4 接線と弦のつくる角 5 方べきの定理 6 2つの円 課題学習	

評価の割合	考查点 70% 平常点 30%				
考查の実施	前期中間・前期期末・後期中間・学年末				
平常点の評価 (30点)	主な評価内容	評価の観点			
		関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	数学的な技能	知識・理解
	1 授業態度	○	○		
	2 出席状況	○			
	3 課題提出	○	○	○	
4 小テスト	○	○	○	○	
留意事項					

【数学科】

数学 B

履修学科	普通科（進学理系・特別進学）
履修学年	第2学年
履修形態	必修
履修単位	2単位
教科書	数学B Standard（東京書籍）

学期・月		項目	ねらい・教材など
前期中間	4	1章 数列	<ul style="list-style-type: none"> 数列の概念および数列について基本的な用語の意味を理解する。 等差数列と等比数列を理解し、その一般項や第 n 項までの和を求められるようにする。
	5	1節 数列	
	6	1 数列 2 等差数列 3 等差数列の和 4 等比数列 5 等比数列の和	
前期期末	7	2節 いろいろな数列	<ul style="list-style-type: none"> 和の記号 Σ を導入して、数列の和をこの記号を使って表すことを学び、続いて自然数の累乗の和の公式を導き出して、記号 Σ によって、いろいろな数列の和が計算できるようにする。 階差数列や数列の和から一般項を求めたりすることができるようにする。 数列の帰納的定義について理解し、漸化式を扱ったり、数学的帰納法を用いて等式などの証明ができるようにする。
	8	1 数列の和と記号 Σ	
	9	2 階差数列と数列の和 3 いろいろな数列 3節 漸化式と数学的帰納法 1 漸化式 2 数学的帰納法	
後期中間	10	2章 ベクトル	<ul style="list-style-type: none"> 平面上のベクトルの考えを理解し、ベクトルに関する基本的な用語・記号を習熟する。 ベクトルの演算について数の演算と同様の法則が成り立つことを確かめ、ベクトルの平行・分解についても理解する。 ベクトルの内積の意味や基本的な性質を理解し、平面図形の性質の考察に応用する。
	11	1節 平面上のベクトル	
		1 有向線分とベクトル 2 ベクトルの加法・減法・実数倍 3 ベクトルの成分 4 ベクトルの内積	
学年末	12	2節 ベクトルの応用	<ul style="list-style-type: none"> 位置ベクトルの考えを理解し、図形の性質の考察において形式的な処理ができることを認識する。 ベクトル方程式を取り扱い、平面図形の性質や関係をベクトルを用いて表現できるようにする。 空間においても座標が定められ、空間内の点は3つの実数の組として表されることを認識させる。
	1	1 位置ベクトル	
	2	2 ベクトルの図形への応用	
	3	3 ベクトル方程式 3節 空間におけるベクトル 1 空間座標	

評価の割合	考查点 70% 平常点 30%				
考查の実施	前期中間・前期期末・後期中間・学年末				
平常点の評価 (30点)	主な評価内容	評価の観点			
		関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	数学的な技能	知識・理解
	1 授業態度	○	○		
	2 出席状況	○			
	3 課題提出	○	○	○	
4 小テスト	○	○	○	○	
留意事項					

【数学科】

基礎数学

履修学科	普通科（保育進学・未来創造）
履修学年	第2学年
履修形態	必修
履修単位	2単位
教科書	

学期・月		項目	ねらい・教材など
前期中間	4 5 6	1 数の計算	教材：「完全攻略 高校生の基礎数学トレーニング」（実教出版） ・正負の四則演算、小数や分数の計算ができるようにする。 ・百分率、割合について理解し、比を用いて計算ができるようにする。 比例・反比例についての理解も深める。 ・式を展開、因数分解をすることで、式を見通しをもって効率的に活用できるようにする。 ・分母の有理化について理解し、根号を含む式の基本的な計算をすることができるようにする。 ・1次方程式、連立方程式の解法を理解し、解くことができるようにする。
		2 比率と割合・比例と反比例	
		3 文字式・整式の計算	
		4 乗法公式による展開と	
		5 因数分解	
		6 無理数の計算	
前期期末	7 8 9	7 2次方程式	・因数分解による解法や解の公式を用いて、2次方程式の解を求めることができるようにする。 ・不等式の性質をもとに、1次不等式を解くことができるようにする。 ・1次関数の基本とグラフの描き方、グラフの交点と連立方程式の関係を理解させる。 ・平方完成を用いて2次関数の軸と頂点を求めることができるようにする。
		8 不等式	
		9 1次関数とグラフ	
		10 2次関数とグラフ	
後期中間	10 11	11 図形と角・合同な図形・平行線と線分の比	・図形に対する直感的な見方や考え方を深め、様々な図形の面積や長さを求めることができるようにする。 ・三角比の相互関係について理解し、正弦定理や余弦定理を用いて、三角形の辺や角、面積などを求めることができるようにする。
		12 図形の面積・体積	
		13 三角比	
学年末	12 1 2	14 集合と要素・命題と証明	・順列、組合せの意味を理解し、それらの総数を求めることができるようにする。 ・確率の基本性質を確認し様々な確率を求めることができるようにする。 ・資料から代表値を求めさせ、その資料の特徴を捉えさせる。 ・距離・速さ・時間の関係を理解し、それぞれの値を求めることができるようにする。 ・濃度の意味を理解し、それを利用した様々な条件での値を求めることができるようにする。
		15 場合の数と確率	
		16 表の読み取り・資料の整理	
		17 さまざまな問題① (距離・速さ・時間の関係、濃度)	

評価の割合	考查点 70% 平常点 30%				
考查の実施	前期中間・前期期末・後期中間・学年末				
平常点の評価 (30点)	主な評価内容	評価の観点			
		関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	数学的な技能	知識・理解
	1 授業態度	○	○		
	2 出席状況	○			
	3 課題提出	○	○	○	
4 小テスト	○	○	○	○	
留意事項					

【理 科】

物 理 基 礎

履修学科	普通科（進学理系、特進理系）
履修学年	第2学年（前期）
履修形態	選択
履修単位	2単位
教科書	「新編物理基礎」（東京書籍）
副教材	「ニューサポート」（東京書籍）

学期・月		項 目	ねらい・教材など
前 期 中 間	4	1編 物体の運動とエネルギー 1章 直線運動の世界 2章 力と運動の法則 3章 日常に潜む力 4章 仕事とエネルギー	<ul style="list-style-type: none"> ・物体の運動を測定し、その運動のグラフで表すことを通して、運動の表し方を理解する。 ・物体の加速度について理解・分析ができ、力の合成と分解をベクトルで表せるようになる。 ・運動の三法則を理解する。 ・摩擦力、及び液体や気体から受ける力を理解する。 ・仕事の定義と仕事の原理について理解する。 ・仕事とエネルギーの関係、および力学的エネルギー保存則を用いて色々な運動を分析できるようになる。 ・運動とエネルギーの探究活動を通して物理学的に探究する力を高める。
	5		
	6		
前 期 期 末	7	第2編 様々な物理現象とエネルギー 1章 熱 2章 波 3章 電気 4章 エネルギー	<ul style="list-style-type: none"> ・粒子の熱運動と温度との関係を定性的に理解する。 ・粒子の熱運動から、物質の三態変化、絶対温度、及び潜熱について理解する。 ・波の基本的な性質を理解し、波の波長などを分析、計算できるようになる。 ・横波と縦波の違い、波の独立性、重ね合わせの原理、反射、身近な楽器の原理について理解する。 ・静電気や電流について電子の移動と関連付けて理解するとともに、電荷や電流の大きさを定量的に扱えるようになる。 ・交流に関連して電磁波について学ぶ。 ・エネルギー問題について関心を持ち、その科学知識や態度を、討論や探究活動などを通して身につける。
	8		
	9		
後 期		なし	

評価の割合	考查点 70% 平常点 30%				
考查の実施	前期中間・前期末				
平常点の評価 (30点)	主な評価内容	評価の観点			
		関心・意欲 態度	思考・判断 表現	技能	知識・理解
	1 授業態度	○			
	2 出席状況	○			
	3 提出物 (プリント、ノート、ワーク等)	○	○	○	○
4 小テスト	○	○		○	
留意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・授業で配布したプリントのまとめをしっかりと行い、ノートもきちんをとること。 ・問題集「ニューサポート」を各自予習復習に用い、考查前には3回以上やり遂げること。 ・2年次では「物理基礎」と「物理」を2単位ずつ、計4単位を履修する。 				

【理 科】

物 理

履修学科	普通科（進学理系、特進理系）
履修学年	第2学年（後期）
履修形態	選択
履修単位	2単位
教科書	「物理」（東京書籍）
副教材	「Let's Try Note」（東京書籍）

学期・月		項 目	ねらい・教材など
前期			なし
後期中間	10	第1編 力と運動 1章 剛体にはたらく力のつり合い 2章 さまざまな運動① 3章 さまざまな運動②	<ul style="list-style-type: none"> ・剛体のつり合いについて理解する。 ・平面内を運動する物体の運動について理解する。 ・平面内の運動を表す変異、速度、加速度がベクトルによって表されることを理解する。 ・円運動をする物体の様子を表す方法やその物体に働く力などについて理解する。 ・等速円運動の速度などについて理解する。 ・惑星の運動に関する法則を理解する。
	11		
学年末	12	4章 さまざまな運動③ 5章 運動量	<ul style="list-style-type: none"> ・単振動をする物体の様子を表す方法やその物体にはたらく力などについて理解する。 ・観察や実験、作図などによって単振動と等速円運動を関連付けて理解する。
	1	第2編 熱 1章 気体分子の運動と圧力	<ul style="list-style-type: none"> ・物体の衝突や分裂における運動量の保存について理解する。
	2	2章 気体の状態変化	<ul style="list-style-type: none"> ・ボイル・シャルルの法則や気体の状態方程式を理解する。
	3		<ul style="list-style-type: none"> ・気体の内部エネルギーについて、気体の分子運動、熱力学第1法則、熱機関とその熱効率などについての理解を深める。

評価の割合	考查点 70% 平常点 30%				
考查の実施	後期中間・学年末				
平常点の評価 (30点)	主な評価内容	評価の観点			
		関心・意欲 態度	思考・判断 表現	技能	知識・理解
	1 授業態度	○			
	2 出席状況	○			
	3 提出物 (プリント、ノート、ワーク等)	○	○	○	○
4 小テスト	○	○		○	
留意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・授業で配布したプリントのまとめをしっかりと行い、ノートもきちんととること。 ・問題集「Let's Try Note」を各自予習復習に使い、考查前には3回以上やり遂げること。 ・2年次では「物理基礎」と「物理」を2単位ずつ、計4単位を履修する。 				

【理科】

化学

履修学科	普通科（特進国立理系）
履修学年	第2学年（3学年で継続履修）
履修形態	必修
履修単位	4単位
教科書	「新版化学新訂版」（実教出版）
副教材	「アクセスノート化学」（実教出版）

学期・月		項目	ねらい・教材など
前期中間	4	第1章 物質の状態と平衡 第1節 状態変化	<ul style="list-style-type: none"> 物質の状態とその変化について、分子間にはたらく力と関連付けて理解する。 気体の圧力・温度・体積について、ボイル・シャルルの法則を通して理解する。 結晶の構造とその種類について理解する。 溶解度について理解する。
	5	第2節 気体の性質	
	6	第3節 固体の構造 第4節 溶液	
前期末	7	第2章 物質の変化と平衡 第1節 化学反応と熱・光エネルギー	<ul style="list-style-type: none"> 化学反応において、反応の前後で物質の持つエネルギーの差が様々なエネルギーとして放出されることを理解する。 化学反応には、速い反応と遅い反応があることを理解し、反応速度を定量的に扱う。 可逆反応と不可逆反応があることを理解し、化学平衡を反応速度の観点から考える。
	8	第2節 電池と電気分解	
	9	第3節 反応の速さとしくみ	
	9	第4節 化学平衡	
後期中間	10	第3章 無機物質 第1節 周期表	<ul style="list-style-type: none"> 周期表における各元素の位置を確認する。 非金属元素の単体と化合物について、その製法、性質、反応を理解する。 金属元素の単体と化合物について、その製法、性質、反応を理解する。
	11	第2節 非金属元素 第3節 金属元素	
	11	第4節 無機物質と人間生活	
後期末	12	第4章 有機化合物 第1節 有機化合物の特徴と分類	<ul style="list-style-type: none"> 人間の生活で利用されている金属、セラミックなどについてその特徴や利用例を理解する。 有機化合物は、官能基ごとに似た性質をもつため、それによって分類されることを理解する。 脂肪族炭化水素の構造や性質、反応を知る。
	1	第1節 有機化合物の特徴と分類	
	2	第2節 脂肪族炭化水素	
	3	第2節 脂肪族炭化水素	

評価の割合	考查点 70% 平常点 30%				
考查の実施	年4回実施				
平常点の評価 (30点)	主な評価内容	評価の観点			
		関心・意欲 態度	思考・判断 表現	技能	知識・理解
	1 授業態度	○			
	2 出席状況	○			
	3 提出物 (プリント、ノート、ワーク等)	○	○	○	○
4 小テスト	○	○		○	
留意事項	<ul style="list-style-type: none"> 授業で配布したプリントのまとめをしっかりと行い、ノートもきちんととること。 教科書準拠の問題集「アクセスノート化学」は、各自予習復習に用い、考查前には3回転以上やり遂げていること。 				

【理科】

化学

履修学科	普通科進学コース（私立理系・看護医療系）
履修学年	第2学年（3学年で継続履修）
履修形態	必修
履修単位	3単位
教科書	「新版化学新訂版」（実教出版）
副教材	「アクセスノート化学」（実教出版）

学期・月		項目	ねらい・教材など
前期 中間	4	第1章 物質の状態と平衡 第1節 状態変化	<ul style="list-style-type: none"> 物質の状態とその変化について、分子間にはたらく力と関連付けて理解する。 気体の圧力・温度・体積について、ボイル・シャルルの法則を通して理解する。また、気体の状態方程式を用いて分子量を求める。 結晶の構造とその種類について理解する。結晶とアモルファスの違いについて理解する。
	5	第2節 気体の性質	
	6	第3節 固体の構造	
前期 期末	7	第4節 溶液	<ul style="list-style-type: none"> 溶解のしくみについて確認し、溶解度について理解する。溶液の性質には、沸点上昇・凝固点降下があることを理解する。また、コロイド溶液の性質を理解する。 化学反応において、様々なエネルギーが放出されることを理解し、熱化学方程式を書けるようにする。また、ヘスの法則を理解する。 電池・電気分解のしくみについて理解する。
	8	第2章 物質の変化と平衡	
	9	第1節 化学反応と熱・光エネルギー 第2節 電池と電気分解	
後期 中間	10	第3節 反応の速さとしくみ	<ul style="list-style-type: none"> 反応速度を定量的に扱う。反応速度に影響する条件、反応のしくみについて理解する。 可逆反応と不可逆反応があること、化学平衡が移動する条件について理解する。電離平衡について学び、pH や塩の加水分解を理解する。
	11	第4節 化学平衡	
後期 期末	12	第3章 無機物質	<ul style="list-style-type: none"> 周期表における各元素の位置を確認する。 非金属元素の単体と化合物について、その製法、性質、反応を理解する。 金属元素の単体と化合物について、その製法、性質、反応を理解する。
	1	第1節 周期表	
	2	第2節 非金属元素	
	3	第3節 金属元素 第4節 無機物質と人間生活	

評価の割合	考查点 70% 平常点 30%				
考查の実施	年4回実施				
平常点の評価 (30点)	主な評価内容	評価の観点			
		関心・意欲 態度	思考・判断 表現	技能	知識・理解
	1 授業態度	○			
	2 出席状況	○			
	3 提出物 (プリント、ノート、ワーク等)	○	○	○	○
4 小テスト	○	○		○	
留意事項	<ul style="list-style-type: none"> 授業で配布したプリントのまとめをしっかりと行い、ノートもきちんととること。 教科書準拠の問題集「アクセスノート化学」は、各自予習復習に用い、考查前には3回転以上やり遂げていること。 				

【理科】

化学

履修学科	普通科（未来創造コース）
履修学年	第2学年（3年次に継続履修）
履修形態	必修
履修単位	2単位
教科書	高等学校化学（第一学習社）
副教材	スタディノート化学

学期・月	項目	ねらい・教材など
前期中間	4 第Ⅰ章 物質の状態	<ul style="list-style-type: none"> ・結晶の構造とその種類について理解する。結晶とアモルファスの違いについて理解する。 ・物質の状態とその変化について、分子間にはたらく力と関連付けて理解する。 ・気体の圧力・温度・体積について、ボイル・シャルルの法則を通して理解する。また、気体の状態方程式を用いて分子量を求める。
	5 第1節 化学結合と結晶	
	6 第2節 物質の三態変化 第3節 気体の性質	
前期期末	7 第4節 溶液の性質	<ul style="list-style-type: none"> ・溶解のしくみについて確認し、溶解度について理解する。溶液の性質には、沸点上昇・凝固点降下があることを理解する。コロイド溶液の性質を理解する。 ・化学反応において、様々なエネルギーが放出されることを理解し、熱化学方程式を書けるようにする。また、ヘスの法則を理解する。 ・電池・電気分解のしくみについて理解する。
	8	
	9 第Ⅱ章 物質の変化と平衡 第1節 物質とエネルギー 第2節 電池・電気分解	
後期中間	10 第3節 化学変化の速さ	<ul style="list-style-type: none"> ・反応速度を定量的に扱う。反応速度に影響する条件、反応のしくみについて理解する。 ・可逆反応と不可逆反応があること、化学平衡が移動する条件について理解する。電離平衡について学び、pHや塩の加水分解を理解する。
	11 第4節 化学平衡	
後期期末	12 第Ⅲ章 無機物質	<ul style="list-style-type: none"> ・非金属元素の単体と化合物について、その製法、性質、反応を理解する。 ・典型金属元素の単体と化合物について、その製法、性質、反応を理解する。 ・遷移元素の単体と化合物について、その製法、性質、反応を理解する。
	1 第1節 非金属元素の単体とその化合物	
	2 第2節 典型金属元素の単体とその化合物	
	3 第3節 遷移元素の単体とその化合物	

評価の割合	考查点 70% 平常点 30%				
考查の実施	年4回実施				
平常点の評価 (30点)	主な評価内容	評価の観点			
		関心・意欲 態度	思考・判断 表現	技能	知識・理解
	1 授業態度	○			
	2 出席状況	○			
	3 提出物 (ノート、ワーク等)	○	○	○	○
4 小テスト	○	○		○	
留意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・授業で配布したプリントのまとめをしっかりと行い、ノートもきちんととること。 ・教科書準拠の問題集「スタディノート」は、各自予習復習に用い、考查前には3回以上やり遂げていること。 ・3年次に2単位継続履修する。 				

【理科】

生物

履修学科	普通科（進学文系，未来創造）
履修学年	第2学年（3年次にも継続履修）
履修形態	必修（進学文系），選択（未来創造）
履修単位	2単位（3学年で2単位）
教科書	「改訂 生物」（第一学習社）
副教材	「セミナー生物」（第一学習社）

学期・月		項目	ねらい・教材など
前期 中間	4	第1編 生命現象と物質 第1章 細胞と分子	<ul style="list-style-type: none"> 生物を構成する元素や物質に関心をもち，意欲的に学習する態度を示す。 いろいろな細胞小器官の働きや構造の知識を身につける。 タンパク質の立体構造に関心をもち，意欲的に学習しようとする。
	5	1. 生体物質と細胞	
	6	2. 細胞膜の働きとタンパク質 3. さまざまなタンパク質の働き	
前期 期末	7	第2章 代謝 1. 代謝とエネルギー代謝	<ul style="list-style-type: none"> エネルギー代謝について理解している。 光合成色素と吸収する光の関係に関心をもち，意欲的に学習しようとする。 窒素固定の反応とこれに関与する酵素に興味をもち，意欲的に学習しようとする。 呼吸と発酵の違いについて意欲的に学習しようとする。 DNAの複製のしくみに関心をもち，積極的に理解しようとする。
	8	2. 炭酸同化 3. 窒素同化 4. 異化	
	9	第3章 遺伝情報の発現 1. 遺伝情報とその発現	
後期 中間	10	2. 遺伝子の発現調節 3. バイオテクノロジー	<ul style="list-style-type: none"> 染色体の構造と遺伝子発現の関係に関心をもち，意欲的に学習しようとする。 バイオテクノロジーの課題を理解している。 無性生殖と有性生殖の違いに関心を示し，積極的に理解しようとする。 遺伝子が連鎖していることを科学的に理解する。
	11	第2編 生殖と発生 第4章 生殖と発生 1. 有性生殖における遺伝的多様性 2. 動物の配偶子形成	
後期 期末	12	3. 動物の発生 4. 動物の発生における形態形成のしくみ	<ul style="list-style-type: none"> 配偶子の形成過程を理解しようとする。 卵割と体細胞分裂の細胞周期の違いに関心をもち，意欲的に理解しようとする。 中胚葉誘導や神経誘導のしくみを理解している。 細胞の全能性に関心を示し，理解しようとする。 被子植物の配偶子形成と重複受精に関心をもち，理解しようとする。
	1	5. 植物の発生	
	2 3		

評価の割合	考查点 70% 平常点 30%				
考查の実施	年 4 回実施				
平常点の評価 (30 点)	主な評価内容	評価の観点			
		関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
	1 授業態度	○			
	2 出席状況	○			
	3 提出物（プリント，ノート等）	○	○	○	○
4 小テスト	○	○		○	
留意事項	<ul style="list-style-type: none"> 授業で配布したプリントのまとめをしっかりと行い，ノートもきちんととること。 教科書準拠の問題集「セミナー生物」は，各自予習復習に用い，考查前には 3 回以上やり遂げていること。 				

【理科】

生物

履修学科	普通科(特進, 進学理系, 進学看護系)
履修学年	第2学年(3年次にも継続履修)
履修形態	必修(特進文系, 進学看護系) 選択(特進理系, 進学理系)
履修単位	2単位(3学年で4単位)
教科書	「改訂 生物」(第一学習社)
副教材	「セミナー生物」(第一学習社)

学期・月		項目	ねらい・教材など
前期 中間	4	第1編 生命現象と物質 第1章 細胞と分子	<ul style="list-style-type: none"> 生物を構成する元素や物質に関心を持ち, 意欲的に学習する態度を示す。 いろいろな細胞小器官の働きや構造の知識を身につける。 タンパク質の立体構造に関心を持ち, 意欲的に学習しようとする。
	5	1. 生体物質と細胞	
	6	2. 細胞膜の働きとタンパク質 3. さまざまなタンパク質の働き	
前期 期末	7	第2章 代謝 1. 代謝とエネルギー	<ul style="list-style-type: none"> 代謝とエネルギーの出入りについて科学的に理解する。 光合成色素と吸収する光の関係に関心を持ち, 意欲的に学習しようとする。 窒素固定の反応とこれに関与する酵素に興味を持ち, 意欲的に学習しようとする。 呼吸と発酵の違いについて意欲的に学習しようとする。
	8	2. 炭酸同化	
	9	3. 窒素同化 4. 異化	
後期 中間	10	第3章 遺伝情報の発現 1. 遺伝情報とその発現	<ul style="list-style-type: none"> DNAの複製のしくみに関心を持ち, 積極的に理解しようとする。 染色体の構造と遺伝子発現の関係に関心を持ち, 意欲的に学習しようとする。 バイオテクノロジーの課題を理解している。
	11	2. 遺伝子の発現調節 3. バイオテクノロジー	
後期 期末	12	第2編 生殖と発生 第4章 生殖と発生	<ul style="list-style-type: none"> 減数分裂を経て多様な染色体の組み合わせの配偶子が生じ, 配偶子の合体によって子の染色体の組み合わせがさらに多様化することを理解している。 遺伝子には連鎖しているものがあることや, 組換えによって連鎖している遺伝子の組み合わせが変化することに関心を示し, 理解しようとする。
	1	1. 有性生殖における遺伝的多様性	
	2 3	2. 動物の配偶子形成	

評価の割合	考查点 70% 平常点 30%				
考查の実施	年4回実施				
平常点の評 価 (30点)	主な評価内容	評価の観点			
		関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
	1 授業態度	○			
	2 出席状況	○			
	3 提出物 (プリント, ノート等)	○	○	○	○
4 小テスト	○	○		○	
留意事項	<ul style="list-style-type: none"> 授業で配布したプリントのまとめをしっかりと行い, ノートもきちんをとること。 教科書準拠の問題集「セミナー生物」は, 各自予習復習に用い, 考查前には3回以上やり遂げていること。 				

【理 科】

地学基礎

履修学科	普通科, 美術・デザイン科
履修学年	第2学年(普通科特進コース、進学コース 私立文・理系、保育コース、未来創造コース、 美術デザイン科)
履修形態	必修, 選択(普通科特進コース国立理系、 進学コース私立理系)
履修単位	2単位
教科書	「高等学校改訂地学基礎」(第一学習社)
副教材	「ネオパルノート地学基礎」(第一学習社)

学期・月		項目	ねらい・教材など
前期中間	4	第1章 宇宙における地球	<ul style="list-style-type: none"> ・宇宙の広がりや銀河の分布を学習し、宇宙の大規模構造について理解する。 ・太陽のエネルギー源や太陽の表面現象について学習し、太陽の構造について理解する。 ・太陽系の構造と誕生について学習し、太陽系がどのように形成されたのかを理解する。
	5	第1節 宇宙の構成	
	6	第2節 太陽 第3節 太陽系の中の地球	
前期末	7	第2章 活動する地球	<ul style="list-style-type: none"> ・地球の層構造を学習し、表面と内部の性質の違いを理解する。 ・火成岩のおもな造岩鉱物の特徴を学習し、火成岩の分類について理解する。 ・地震のおこるしくみと震源断層の規模と位置について学習する。
	8	第1節 地球の姿	
	9	第2節 火山活動と地震	
後期中間	10	第3章 移り変わる地球	<ul style="list-style-type: none"> ・河川の働きと地層の形成について学習する。 ・化石のでき方および示相化石と示準化石を学習する。 ・相対年代と絶対年代について学習し、地質年代代表について理解する。
	11	第1節 地層や岩石と地質構造 第2節 地球環境と生物界の変遷	
後期末	12	第5章 地球の環境	<ul style="list-style-type: none"> ・地球の温暖化について学習する。 ・気団や季節風、日本の天気の特徴を理解する。 ・大気の組成、大気圧力、大気圏の構造を学習する。 ・緯度によるエネルギー収支を学習し、大気の大循環について理解する。
	1	第1節 地球環境の科学	
	2	第2節 日本の自然環境	
	3	第4章 大気と海洋 第1節 地球の熱収支 第2節 大気と海洋の運動	

評価の割合	考查点 70% 平常点 30%				
考查の実施	年 4 回実施				
平常点の評価 (30点)	主な評価内容	評価の観点			
		関心・意欲 態度	思考・判断 表現	技能	知識・理解
	1 授業態度	○			
	2 出席状況	○			
	3 提出物 (プリント、ノート、ワーク等)	○	○	○	○
4 小テスト	○	○		○	
留意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・授業で配布したプリントのまとめをしっかりと行い、ノートもきちんととること。 ・教科書準拠の問題集「ネオパルノート地学基礎」は、各自予習復習に用い、考查前には3回以上やり遂げていること。 				

【保健体育科】

体 育

履修学科	普通科・商業科・美術デザイン科
履修学年	第2学年(男子)
履修形態	必修
履修単位	3単位
教科書	アクティブスポーツ 2020

学期・月	項目	ねらい・教材など
前期中間	4 体づくり運動	<ul style="list-style-type: none"> ・2年次の「授業の流れ・諸注意について」確認する。 ・授業展開を伝えるとともに、授業で目標としている評価のポイントを理解させる。 ・集団の約束や決まりを守り、機敏的確に行動することを身に付ける。 ・体力・運動能力の現状を確かめ、現在の自分の体力を知り、今後の授業に活かす。
	5 集団行動	
	6 スポーツテスト 陸上競技(走・跳・投)	
前期期末	7 ソフトボール	<ul style="list-style-type: none"> ・勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、作戦や状況に応じた技能や仲間と連携した動きを高め、試合が展開できるようにする。 ・個々に応じた目標設定をする。個人技能をもとに、集団技能を習得し、ゲームに活かす。(パス、レシーブ、アタック、サーブの連携技術習得)
	8 バレーボール	
	9	
後期中間	10 サッカー	<ul style="list-style-type: none"> ・状況に応じたボール操作と空間を作るなどの動きなどの基本技術を身に付ける。 ・パスやドリブル・ボールコントロールの技術を応用し、味方が作り出した空間に走りこんだシュート動作を身に付ける。 ・接触プレーの多い球技ゲームを通して、チームの協調性とルールの順守の大切さを学ばせ、協力し合いながら、安全に試合の攻防が展開できるようにさせる。
	11 バスケットボール	
学年末	12 バスケットボール	<ul style="list-style-type: none"> ・接触プレーの多い球技ゲームを通して、チームの協調性とルールの順守の大切さを学ばせ、協力し合いながら、安全に試合の攻防が展開できるようにさせる。 ・ラケット操作を身に付け、シャトルコックの特性を理解し、基本技能を身に付ける。
	1 バドミントン	
	2 3	

評価の割合	授業内でのテスト 70% 平常点 30%					
考査の実施	実施せず全て実技試験による					
平常点の評価 (30点)	主な評価内容	評価の観点				
		関心・意欲 態度	思考・判断 表現	技能	知識・理解	
		1 授業態度	○	○	○	
		2 出席状況	○			
3 課題提出	○	○		○		
留意事項	<p>運動の必要性を認識し、自らを鍛えるという習慣を身に付け、体力の向上に努力する。年間を通して集団の一員としての在り方を見つめ、進んで取り組む姿勢や改善する能力を養う。また、健康を常に意識しながらスポーツを生涯の友として取り組む姿勢を養う。</p>					

【保健体育科】

体 育

履修学科	普通科・商業科・美術デザイン科
履修学年	第2学年(女子)
履修形態	必修
履修単位	3単位
教科書	アクティブスポーツ 2020

学期・月	項目	ねらい・教材など
前期中間	4 体づくり運動	<ul style="list-style-type: none"> ・2年次の「授業の流れ・諸注意について」確認する。 ・授業展開を伝えるとともに、授業で目標としている評価のポイントを理解させる。 ・集団の約束や決まりを守り、機敏的確に行動することを身に付ける。 ・体力・運動能力の現状を確かめ、現在の自分の体力を知り、今後の授業に活かす。
	5 集団行動	
	6 スポーツテスト 陸上競技(走・跳・投)	
前期末	7 バレーボール	<ul style="list-style-type: none"> ・個々に応じた目標設定をする。個人技能をもとに、集団技能を習得し、ゲームに活かす。(パス、レシーブ、アタック、サーブの連携技術習得) ・社交型ダンスを通して、ダンスの由来や背景に目を向け、文化として理解する。
	8 ダンス	
	9	
後期中間	10 バドミントン	<ul style="list-style-type: none"> ・ラケット操作を身に付け、シャトルコックの特性を理解し、基本技能を身に付ける。 ・リズム型ダンスを通し、人間の活力健康と直結した動きからリズムの取り方などを学ぶ。
	11 ダンス	
学年末	12 バスケットボール	<ul style="list-style-type: none"> ・パスやドリブル・ボールコントロールの技術を応用し、味方が作り出した空間に走りこんだシュート動作を身に付ける。 ・接触プレーの多い球技ゲームを通して、チームの協調性とルールの順守の大切さを学ばせ、協力し合いながら、安全に試合の攻防が展開できるようにさせる。 ・創作型ダンスを通し「創る」「表現する」体験が心を豊かに、そして個性を育てるテーマを設定して作品を発表する。
	1 ダンス	
	2	
	3	

評価の割合	授業内でのテスト 70% 平常点 30%				
考査の実施	実施せず全て実技試験による				
平常点の評価 (30点)	主な評価内容	評価の観点			
		関心・意欲 態度	思考・判断 表現	技能	知識・理解
	1 授業態度	○	○	○	
	2 出席状況	○			
	3 課題提出	○	○		○
留意事項	<p>運動の必要性を認識し、自らを鍛えるという習慣を身に付け、体力の向上に努力する。年間を通して集団の一員としての在り方を見つめ、進んで取り組む姿勢や改善する能力を養う。また、健康を常に意識しながらスポーツを生涯の友として取り組む姿勢を養う。</p>				

【保健体育科】

保 健

履修学科	普通科・商業科・美術科
履修学年	第2学年
履修形態	必修
履修単位	1単位
教科書	最新高等保健体育

学期・月	項目	ねらい・教材など
前期中間	第1単元 現代社会と健康	<ul style="list-style-type: none"> ・日常的なけがや、熱中症の適切な応急手当の手順方法について学ぶ。 ・心肺蘇生法 AED の原理を理解し、適切な手順を学ぶ。 ・地球規模の環境問題やその健康影響を学ぶ。
	17 応急手当の意義とその手当	
	18 日常的な応急手当	
	19 心肺蘇生法の原理とおこない方	
前期期末	第3単元 社会生活と健康	<ul style="list-style-type: none"> ・水質汚濁・土壌汚染の原因とその健康影響について学ぶ。 ・行政や生産者・製造者による食品安全のための対策や消費者が行うべきことを学ぶ。 ・国内外の保健活動や対策を学ぶ。
	1 大気汚染と健康	
	2 水質汚濁,土壌汚染と健康	
	5 食品の安全を守る活動	
後期中間	第2単元 生涯を通じる健康	<ul style="list-style-type: none"> ・思春期の心の発達にかかわる健康課題や、性意識の男女差などを認識する。 ・結婚生活を健康的に送るために、必要な考え方や行動を学ぶ。 ・家族計画の意義と適切な避妊方法を学ぶ。
	10 さまざまな保健活動や対策	
	1 思春期と健康	
	2 性への関心・欲求と性行動	
後期期末	5 結婚生活と健康	<ul style="list-style-type: none"> ・医薬品の正しい使用法を認識する。 ・妊娠出産の家庭における健康課題について学ぶ。 ・保健行政の役割についてや保健サービスの活用方法を学ぶ。
	4 避妊法と人工妊娠中絶	
	7 医療品とその活用	
	3 妊娠・出産と健康	
	9 保健サービスとその活用	

評価の割合	考查点 80%	平常点 20%			
考查の実施	前期期末・学年末考查				
平常点の評価 (20点)	主な評価内容	評価の観点			
		関心・意欲 態度	思考・判断 表現	技能	知識・理解
	1 授業態度	○	○		○
	2 出席状況	○	○		○
	3 課題提出	○	○		○
4 小テスト	○	○		○	
留意事項	<p>私たちが健康的な社会生活を営むうえで、社会の制度や取り組み活動のあり方も重要となります。社会全体の健康を高めるためにも自然環境や労働などに関係する健康問題を学び、また、私たちの心や身体は、高校生の時期から大人に近づきます。年齢とともに会うさまざまな健康問題や健康を支える社会のしくみと、その活用の仕方などについて学習します。</p>				

【芸術科】

音楽総合

履修学科	普通科
履修学年	第2学年(保育コース)
履修形態	必履修
履修単位	2単位
教科書	なし

学期・月	項目	ねらい・教材など
前期中間	4	<ul style="list-style-type: none"> 「音楽総合」学習のためのガイダンス、アンケート 合唱(全体)およびピアノ実技(個人練習) リズム練習 童謡の練習 楽典(基礎の復習・音符、音階、記号、など) ミュージカル映画鑑賞(感想文の提出)
	5	
	6	
前期末	7	<ul style="list-style-type: none"> ピアノ実技 および リズム練習 テスト 楽典(音程①) ミュージック系映画鑑賞(感想文の提出)
	8	
	9	
後期中間	10	<ul style="list-style-type: none"> 沖縄音楽に触れる(実技:歌唱、ピアノ) リズム練習 楽典(音階、音程②、調性 等)
	11	
後期末	12	<ul style="list-style-type: none"> 課題曲の確認 楽典の確認、およびテスト 三部合唱
	1	
	2	
	3	

評価の割合	実技テスト点/小テスト点 80% 平常点20%				
考査の実施	なし				
平常点の評価 (20点)	おもな評価内容	評価の観点			
		関心・意欲 態度	思考・判断 表現	技能	知識・理解
	1 授業態度	○			
	2 出席状況	○			
	3 課題提出	○	○		○
4 実技テスト	○	○	○	○	
留意事項	実技の取り組み状況が評価に大きくかかわります。				

【芸術科】

音楽 I

履修学科	商業科
履修学年	第2学年
履修形態	選択必履修
履修単位	2単位
教科書	教育芸術社 MOUSA1

学期・月	項目	ねらい・教材など	
前期中間	4	<ul style="list-style-type: none"> ・「音楽 I」学習のためのガイダンス、アンケート ・校歌を中心とした「歌唱」の練習 (世界の歌・日本の歌) 	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの音楽学習歴や音楽に関する興味関心度などを調査する。 ・発声を学び伸びやかに歌う。外国語の歌に触れ、日本語の歌との違いを感じ取る。 ・鍵盤に慣れる。「星に願いを」他 ・DVD
	5	<ul style="list-style-type: none"> ・ピアノ(鍵盤楽器)の基礎学習(練習、テスト) ・「歌」実技テスト 	
	6	<ul style="list-style-type: none"> ・DVD(ミュージカル映画)鑑賞(感想文の提出) 	
前期期末	7	<ul style="list-style-type: none"> ・ピアノ練習および実技テスト ・DVD(ミュージカル映画)鑑賞(感想文の提出) 	<ul style="list-style-type: none"> ・鍵盤に慣れるとともに音階や曲の形式を理解する。 ・ミュージカル映画を鑑賞し、表現力や制作の舞台裏を理解する。 ・読譜の基本を確認する ・日本の伝統音楽について学ぶ。 ・名曲に触れる。
	8	<ul style="list-style-type: none"> ・楽典の学習(音符や休符等について) ・音楽史(バロック・古典派)について ・日本の伝統音楽について① 	
	9	<ul style="list-style-type: none"> ・CD鑑賞等 	
後期中間	10	<ul style="list-style-type: none"> ・クラシックギターの基礎学習 ・沖縄の音楽に触れる ・ドイツリートに触れる 	<ul style="list-style-type: none"> ・クラシックギターの基礎を学び、メロディーおよびコードが弾けるようにする。 プリント、テキスト、教科書 ・「島唄」等 ・外国語の歌(ドイツ語)に触れる。 「教科書、CD」 ・日本の伝統音楽について学ぶ 鑑賞等
	11	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の伝統音楽について② 	
後期期末	12	発表会に向けて(選曲、練習、発表)	<ul style="list-style-type: none"> ・発表会を通して発表を経験し、マナー等を学ぶ。 ・読譜の基礎を確認する。 ・レポート課題
	1	<ul style="list-style-type: none"> ・楽典の学習 (記号、拍子、演奏形態などについて) 	
	2	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽史(ロマン派以降)について ・CD, DVD鑑賞 ・レポートの提出 	
	3		

評価の割合	小テスト・実技テスト点 80% 平常点20%				
考査の実施	なし				
平常点の評価 (20点)	おもな評価内容	評価の観点			
		関心・意欲 態度	思考・判断 表現	技能	知識・理解
	1 授業態度	○			
	2 出席状況	○			
	3 課題提出	○	○		○
4 実技テスト	○	○	○	○	
留意事項	音楽経験(ピアノを習っている、習ったことがある)などで評価が大きく左右されないように形成的評価での評価とします。(今の自分のレベルから上達した部分を評価します) 実技の取り組み状況が評価に大きくかかわります。				

【芸術科】

美術 I

履修学科	商業科
履修学年	第2学年
履修形態	選択
履修単位	2単位
教科書	

学期・月		項目	ねらい・教材等
前期 中間	4	美術の学習のガイダンス	<ul style="list-style-type: none"> 色鉛筆、絵の具などの画材に触れ、絵画、デザインにおいて美術の大切な要素となる色の特徴や色の選択、混色、重色を学習する。 複数の図法を用い、スケッチを通して描くことに慣れながら、形や質感をとらえる力を身につける。
	5	<色彩と形> 色の特徴	
	6	形の特徴	
前期 期末	7	<絵画制作>	<ul style="list-style-type: none"> 身近な風景をスケッチし、構図、線遠近法を学習する。 絵の具の表現方法を学び、風景画や自画像を制作する。
	8	風景画を描く	
	9		
後期 中間	10	<クラフト>	<ul style="list-style-type: none"> 自然素材である木でデザインを考え制作する。
	11	ウッドクラフト	
	12		
後期 期末	1	<デザイン> 日本美術	<ul style="list-style-type: none"> 日本美術の歴史や伝統工芸を学習し、美術文化への鑑賞する力を養う。 造形的なよさや美しさ、目的や条件などを基に美的感覚をはたらかせながら、生活と密着する現代のデザイン事情について学習する。
	2		
	3	暮らしの中のデザイン	

評価の割合	考查点/課題評価点 80% 平常点 20%				
考查の実施	なし				
平常点の評価 (20点)	主な評価内容	評 価 の 観 点			
		関心・意欲・ 態度	表現・発想力	創造的スキル	知識・理解・ 鑑賞の能力
	1 授業態度	○		○	
	2 出欠状況	○			
3 課題提出	○	○	○	○	
留意事項	考查がないため、授業で制作する課題の作品やプリント類も評価に反映されます。必ず提出して下さい。				

【芸術科】

書道 I

履修学科	商業科
履修学年	第2学年
履修形態	選択
履修単位	2単位
教科書	

学期・月		項目	ねらい・教材など
前期 中間	4	○書に親しむ	<ul style="list-style-type: none"> ・篆書の学習を通して、落款が作品の中で重要であることに関心を深め、字典等を利用し工夫と表現が出来る。また、書作品の落款と自作、他作の印を比較し、意見交換できる。
	5	○篆刻の学習	
	6	篆書体で自分の氏名を刻る	
前期 期末	7	○漢字の書 漢字の成立と変遷 用具・用材・姿勢・執筆法	<ul style="list-style-type: none"> ・古典の臨書や鑑賞によって、書体や書風、構成などの違いを知ることができるようにする文房四宝を知り用具・用材による表現の違いを知る。 ・楷書や行書の書を通して、漢字の書の良さや美しさを感じ取り、基礎的な技能を身につけ書が生活の中で果たしている役割、書の文化や伝統などを理解する。
	8	○楷書 九成宮醴泉銘	
	9	孔子廟堂碑	
後期 中間	10	○漢字仮名交じりの書 漢字と仮名の調和 用具・用材による表現の変化	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字仮名交じりの書を通して、書の良さや美しさを感じ取り、実用的な表現や芸術的な表現の基礎的な技能を表現と鑑賞の関連を図りながら味わう。
	11	紙面構成のバリエーション 創作	
	12	画仙紙での作品制作	
後期 期末	1	○年賀状の学習	<ul style="list-style-type: none"> ・紙や墨、筆の種類によって、表現に変化をつけられることを理解する。また、用具・用材の組み合わせによっても、表現の幅が広がることを理解する。 ・自分の表現意図に合った効果的な表現方法を模索する。
	2	○漢字の創作 画仙紙での作品制作	
	3	○漢字の書 行書 ○まとめ	

評価の割合	課題評価 70% 平常点 30%				
考査の実施	なし				
平常点の評価 (30点)	主な評価内容	評価の観点			
		関心・意欲 態度	思考・判断 表現	技能	知識・理解
	1 授業態度	○	○		○
	2 出席状況	○			
	3 課題提出	○	○	○	○
留意事項					

【外国語科】

コミュニケーション

英語 II

履修学科	普通科（特進・文理）
履修学年	第2学年
履修形態	必修
履修単位	4単位
教科書	「WORLD TREK English Communication II」 (桐原書店)

学期・月		項目	ねらい・教材など
前期中間	4	高校1年英語の復習	教材：「システム英単語」 「総合英語 Evergreen」 WORLD TREK II Communication II Workbook」 「WORLD TREK II Communication II 学習ノート」 ①世界各地の風土や風習について読み、その特徴を理解する。S+V+C (0, 0+0)の用法を理解する。②水族館についての対話を読み、そこに込められた工夫や思いについて理解する。S+V+O+C(=現在分詞)/S+V+O+C(=動詞の原形)/S+V+O+C(=過去分詞)の意味と用法を理解する。
	5	Lesson 1 What Happens in Your Country in April?	
	6	Lesson 2 Aquariums	
前期期末	7	Lesson 3 Dear Juliet	①「ジュリエットクラブ」の活動を通して、悩みに答える人々の心理を読む。形式主語 (to 不定詞) / 否定の主語 / 形式主語 (that 節) の用法を理解する。②ねぶた祭りの魅力を理解する。様々な助動詞の意味と用法を理解する。③子供達が音楽で夢や希望を見いだしていく過程を読む。様々な完了形の用法を理解する。
	8	Lesson 4 Nebuta, the Soul of Aomori	
	9	Lesson 5 Changing Things, Changing Lives	
後期中間	10	Lesson 6 Racing toward Your Dreams	①プロのレーサーになるまでの動機や、その後の困難を理解する。S+V+C(that)、形式主語、形式目的語の用法を理解する。②世界的な行事であるハロウィーンの成り立ちを理解し、見聞を広げる。関係代名詞と関係副詞の違いを理解する。③ロボットの活躍の可能性を理解する。分詞構文の種類や、with を使った状態の表現を理解する。
	11	Lesson 7 The Origins of Halloween	
	12	Lesson 8 Helping People through Robots	
後期期末	1	Lesson 9 Snowflake Bentley	①ベントレーが雪の結晶を見つける経緯を綴った伝記を読み深める。仮定法の種類を理解し、活用できるようにする。②19世紀に浮世絵が欧州の人々に与えた影響を理解する。準否定語や、様々な比較表現を学ぶことで、表現の幅を広げる。
	2	Lesson 10 Ukiyoe and the Impressionists	
	3		

評価の割合	考查点 70% ・ 平常点 30%				
考查の実施	前期中間考查・前期期末考查・後期中間考查・後期期末考查				
平常点の評価 (30点)	主な評価内容	評価の観点			
		関心・意欲 態度	思考・判断 表現	技能	知識・理解
	1 授業態度	○	○	○	○
	2 出席状況	○			
	3 課題提出	○	○		○
4 小テスト	○	○	○	○	
留意事項	<ul style="list-style-type: none"> 生徒が英語を発する活動をできるだけ増やす。 英単語帳を使用し、語彙数を増やす。 				

【外国語科】

コミュニケーション

英語 II

履修学科	普通科（進学・文理看）
履修学年	第2学年
履修形態	必修
履修単位	4単位
教科書	「WORLD TREK English Communication II」 (桐原書店)

学期・月	項目	ねらい・教材など	
前期中間	4 5 6	高校1年英語の復習 Lesson1 What Happens in Your Country in April? Lesson 2 Aquariums	
	前期期末	7 8 9	Lesson 3 Dear Juliet Lesson 4 Nebuta, the Soul of Aomori Lesson 5 Changing Things, Changing Lives
		後期中間	10 11 12
後期期末			1 2 3

評価の割合	考查点 70% ・ 平常点 30%				
考查の実施	前期中間考查・前期期末考查・後期中間考查・後期期末考查				
平常点の評価 (30点)	主な評価内容	評価の観点			
		関心・意欲 態度	思考・判断 表現	技能	知識・理解
	1 授業態度	○	○	○	○
	2 出席状況	○			
	3 課題提出	○	○		○
	4 小テスト	○	○	○	○
留意事項	<ul style="list-style-type: none"> 生徒が英語を発する活動をできるだけ増やす。 英単語帳を使用し、語彙数を増やす。 				

【外国語科】

コミュニケーション

英語 II

履修学科	普通科(未来・保育(子ども)) 商業科(情ビ)
履修学年	第2学年
履修形態	必修
履修単位	3単位
教科書	All aboard! English Communication II (東京書籍)

学期・月	項目	ねらい・教材など
前期中間 4 5 6	Lesson 1 Fantastic Festivals Lesson 2 Dancing with Freedom	教材：「英単語ターゲット 1200」(旺文社) 「書き込み式ノート英単語ターゲット 1200 Workbook 2」 ①イタリアとフィリピンの2か国のお祭りから、文化や風習を学ぶ。②世界で活躍するダンサーの経験から、自分を表現することの難しさについて考える。③比較表現、関係代名詞 what を理解し、文を作ることができる。
前期期末 7 8 9	Lesson 3 The Spirit of the Forest	①希少種の「ヤマネ」の生態から、自然環境の大切さを考える。②単語のワークブックを活用して語彙数を増やす。③間接疑問文を理解し、文を作ることができる。
後期中間 10 11	Lesson 4 Living with Robots	①生活の中で、「ロボット」の必要性について考える。概要や要点をとらえることができる。②名詞を後ろから説明する分詞の表現を理解し、文を作ることができる。
学年末 12 1 2 3	Lesson 5 Special Makeup in Kabuki	①日本の伝統文化である、歌舞伎の歴史や独特な化粧について知る。②単語のワークブックを活用して語彙数を増やす。③不定詞を含む表現を理解し文を作ることができる。

評価の割合	<p style="text-align: center;"> ● 70% ● 30% </p>				
<p>●</p>	<p style="text-align: center;"> ● 前期中間 ● 前期期末 ● 後期中間 ● 学年末 </p>				
<p>●</p>	<p>●</p>	<p>●</p>			
		<p>●</p>	<p>●</p>	<p>●</p>	<p>●</p>
	1 授業態度	○	○	○	○
	2 出席状況	○			
	3 課題提出	○	○		○
4 小テスト	○	○	○	○	
<p>●</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 英語への抵抗感を無くすよう分かりやすい授業を心掛ける。 ● 生徒への指示等はできるだけ英語で行い、コミュニケーション的な発話を促す。 ● 英単語帳を使用し、語彙数を増やす。 				

【外国語科】

コミュニケーション

英語 II

履修学科	商業科（進ラ）・美術・デザイン科
履修学年	第2学年
履修形態	必修
履修単位	3単位
教科書	「WORLD TREK English Communication II」 (桐原書店)

学期・月		項目	ねらい・教材など
前期中間	4	高校1年英語の復習	教材：「英単語ターゲット1200」 「書き込み式ノート 英単語ターゲット1200 Workbook2」 「WORLD TREK II Communication II Workbook」 「WORLD TREK II Communication II 学習ノート」 ①世界各地の風土や風習について読み、その違いや特徴を理解する。S+V+C/ S+V+O/ S+V+O+Oの用法を理解する。 ②水族館の展示や生物についての対話を読み、そこに込められた工夫や思いについて理解する。S+V+O+C(=現在分詞)/ S+V+O+C(=動詞の原形)/ S+V+O+C(=過去分詞)の意味と用法を理解する。
	5	Lesson1 What Happens in Your Country in April?	
	6	Lesson 2 Aquariums	
前期期末	7	Lesson 3 Dear Juliet	①「ジュリエットクラブ」の活動を通して、悩みを打ち明ける人々や、悩みに答える人々の心理を読む。形式主語① (to不定詞) / 否定の主語/ 形式主語② (that節)の用法を理解する。
	8		
	9		
後期中間	10	Lesson 4 Nebuta, the Soul of Aomori	①ねぶた祭りについての説明を読み、その魅力や祭りに関わる人たちの思いを理解する。助動詞 may (推量) must (強い推量) / seem+to 不定詞/ 助動詞+完了形の意味と用法を理解する。
	11		
	12		
後期期末	1	Lesson 5 Changing Things, Changing Lives	①劣悪な環境で働いていた子どもたちが、音楽を学ぶことで自らの夢や希望を見いだしていく過程を読む。現在完了進行形/ 現在完了形の受け身/ 過去完了進行形の意味と用法を理解する。
	2		
	3		

評価の割合	考查点 70% ・ 平常点 30%				
考查の実施	前期中間考查・前期期末考查・後期中間考查・後期期末考查				
平常点の評価 (20点)	主な評価内容	評価の観点			
		関心・意欲 態度	思考・判断 表現	技能	知識・理解
	1 授業態度	○	○	○	○
	2 出席状況	○			
	3 課題提出	○	○		○
4 小テスト	○	○	○	○	
留意事項	<ul style="list-style-type: none"> 生徒が英語を発する活動をできるだけ増やす。 英単語帳を使用し、語彙数を増やす。 				

【外国語科】

英語表現 I

履修学科	特別進学（文理）
履修学年	第2学年
履修形態	必修
履修単位	2単位
教科書	「BIG DIPPER English Expression I」 (数研出版)

学期・月	項目	ねらい・教材など
前期中間	Lesson 1 「だれが」「～する」をはっきりと	「BIG DIPPER English Expression I レッスンブック」 ①肯定文・否定文・疑問文・を作ってみる②現在形・現在進行形・過去形・過去進行形の文を作ってみる。③will, be going to ～で未来を表現する。④現在完了形を適切に使えるようにする。
	Lesson 2 動詞をうまく使おう	
	Lesson 3 名詞の数などに気を付けよう	
	Lesson 4 My friends (友だち)	
	Lesson 5 My family (家族)	
	Lesson 6 Pastime (休日の予定)	
	Lesson 7 My town (町)	
前期期末	Lesson 8 Our teachers (先生)	①can, may, must を用いた文を作る。②should, must や〈助動詞+have+過去分詞〉の形をできるようにする。③〈主語+動詞〉に続く後の関係を理解する。④〈be 動詞+過去分詞〉受け身の様々な形をできるようにする。
	Lesson 9 Visiting a Museum (芸術)	
	Lesson 10 Famous People(有名人)	
	Lesson 11 Reading (読書)	
後期中間	Lesson 12 Studying Abroad (留学)	①名詞・形容詞のように働く〈to+不定詞〉や〈疑問詞+to+不定詞〉をできるようにする。②動詞のように働く〈to+不定詞〉や、〈SVO+不定詞〉をできるようにする。③動名詞を適切に使えるようにする。④名詞を修飾する分詞や、〈SV+分詞〉・〈SVO+分詞〉をできるようにする。
	Lesson 13 Advice (相談事)	
	Lesson 14 Hobbies (趣味)	
	Lesson 15 My Vacation (休暇)	
後期期末	Lesson 16 In a Zoo (動物)	①〈as+原級+as〉〈比較級+than〉をできるようにする。②最上級や〈twice as+原級+as〉などの慣用表現を使ってみる。③関係代名詞 who, which, that などを使って表現してみる。関係代名詞 what、関係副詞 where, when, why, how を使って表現してみる。
	Lesson 17 Our Team (部活動)	
	Lesson 18 Neighbors (隣人)	
	Lesson 19 Speeches (スピーチ) 【PART2】 Lesson1、Lesson2	

評価の割合	考查点 80% ・ 平常点 20%				
考查の実施	前期中間考查・前期期末考查・後期中間考查・後期期末考查				
平常点の評価 (20点)	主な評価内容	評価の観点			
		関心・意欲 態度	思考・判断 表現	技能	知識・理解
	1 授業態度	○	○	○	○
	2 出席状況	○			
	3 課題提出	○	○		○
4 小テスト	○	○	○	○	
留意事項	・文法の理解を深めることだけでなく、インプットした情報をアウトプットできるように表現練習や演習を重ねたい。				

【外国語科】

英語表現 I

履修学科	普通科（進学・文理看）、美術・デザイン科
履修学年	第2学年
履修形態	必修
履修単位	2単位
教科書	「Vision Quest English Expression I Core」（啓林館）

学期・月	項目	ねらい・教材など
前期中間	Lesson 1 Do you like sports? スポーツは好き？	教材：「総合英語 Evergreen」（いっずな書店） ①肯定文や疑問文、否定文など文の種類を正確に理解する。②第1文型から第5文型までの文型と動詞の種類について理解する。③現在形や過去形、未来形など時制について理解を深める。
	Lesson 2 I study Japanese through anime. アニメで日本語を学んでいます。	
	Lesson 3 Will you go home this summer? この夏は国に帰るの？	
前期期末	Lesson 4 I've never played soccer before. サッカーはやったことないんだ。	①現在完了形や過去完了形、未来完了形の基本的な考え方と表現方法を学ぶ。②助動詞の基本的な形と、他の文法との混合型の活用方法を理解する。③受動態がどのような状況で使われるのかを理解し、正確に表現できるようにする。
	Lesson 5 The apple pie is delicious. アップルパイ、おいしいよ。	
	Lesson 6 I'm so glad I can see the Sydney Opera House. シドニー・オペラハウスが見られてすごくうれしい。	
後期中間	Lesson 7 Thank you for your invitation today. 今日のご招待ありがとうございます。	①不定詞の基本形や否定形、意味上の主語の表し方などを理解する。②動名詞が使われるパターンを理解し、不定詞との用途別の理解を深める。③名詞を分詞で修飾する形を理解し、分詞構文についても活用できるようにする。
	Lesson 8 How about going together this weekend? 今週末、一緒に行かない？	
	Lesson 9 I'm unhappy with our school uniforms. 私は学校の制服が気に入っていないの。	
後期期末	Lesson 10 That's why it looks so nice! それであんなに立派なんだ！	①関係代名詞や関係副詞、複合関係詞などの用法を理解し、正確に活用できるようにする。②原級や比較級、最上級の基本形を理解し、応用的な比較表現も活用できるように練習する。③仮定法過去や仮定法過去完了の意味を理解し、混合型や慣用表現など応用的な内容まで理解する。
	Lesson 11 I hear the population of Japan is falling quickly. 日本の人口は急速に減っているって聞いたよ。	
	Lesson 12 I wish it were possible to get it back. 元に戻せたらいいんだけど。	

評価の割合	考查点 70% ・ 平常点 30%				
考查の実施	前期中間考查・前期期末考查・後期中間考查・後期期末考查				
平常点の評価 (30点)	主な評価内容	評価の観点			
		関心・意欲 態度	思考・判断 表現	技能	知識・理解
	1 授業態度	○	○	○	○
	2 出席状況	○			
	3 課題提出	○	○		○
4 小テスト	○	○	○	○	
留意事項	・ 文法の理解を深めることだけでなく、インプットした情報をアウトプットできるように表現練習や演習を重ねたい。				

【外国語科】

英語探究 B

履修学科	普通科（特進）
履修学年	第2学年
履修形態	必修
履修単位	2単位
教科書	使用しない

学期・月	項目	ねらい・教材など
前期中間 4 5 6	(1) システム英単語 第1章(1~450) (2) 英文法レベル別問題集③標準編 第1章 動詞・時制 第2章 受動態 第3章 不定詞	教材：総合英語 Evergreen（いわずな書店） DATA BASE4500（桐原文庫） 英文法レベル別問題集③標準編（東進） (1) 高校レベル英単語の定着を図る。 (2) 高校レベルの基礎的な事項の復習をしながら、受験範囲の文法事項の習得を図る。
前期期末 7 8 9	(1) システム英単語 第1章(451~600)、第2章(601~900) (2) 英文法レベル別問題集③標準編 第4章 動名詞 第5章 分詞 第6章 分詞構文	(1) 高校基礎レベルの語彙を習得することによって、読解問題に対応する基礎力を固める。単語テストは定期的に行う。 (2) 『予習→授業→復習（宿題）』の学習パターンを確立する。
後期中間 10 11	(1) システム英単語 第2章(901~1200) (2) 英文法レベル別問題集③標準編 第7章 関係詞 第8章 比較 第9章 仮定法 第10章 その他	(1) 大学入試共通テストレベルの語彙力を身につける。 (2) 英語を理解し、表現するための文法力や運用能力の育成を図る。また、頻出構文の理解と定着を図る。
後期期末 12 1 2 3	(1) システム英単語 第5章(1~181) (2) Next Stage 第1章～第10章	教材：Next Stage（桐原書店） (1) 多義語の理解を深める。 (2) センター試験、中堅私大レベルの内容に対応できる基礎力を固めることを目標とする。また、各章ごとの小テストを行う。

評価の割合	考查点 70% ・ 平常点 30%				
考查の実施	前期中間考查・前期期末考查・後期中間考查・後期期末考查				
平常点の評価 (20点)	主な評価内容	評価の観点			
		関心・意欲 態度	思考・判断 表現	技能	知識・理解
	1 授業態度	○	○	○	○
	2 出席状況	○			
	3 課題提出	○	○		○
4 小テスト	○	○	○	○	
留意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・土曜日講習でも同じ教材を使用する。 ・模擬試験の対策と解説を適宜行い、実力アップを図る。 				

【外国語科】

英語探究 B

履修学科	普通科（保育進学）
履修学年	第2学年
履修形態	必修
履修単位	2単位
教科書	プレップイングリッシュ

学期・月		項目	ねらい・教材など
前期中間	4	※日本語と英語の違い ① Lesson 1～4 「これ」と「あれ」について 誰が誰を手伝うの？他	※語順・冠詞と名詞・名詞の単数形と複数形 ① this と that ・主格と目的格・所有格・ 形容詞と副詞
	5	② Lesson 5～8 be 動詞は変身大好き！ 疑問文、be 動詞はしゃしゃり出る！他	② am / are / is ・ be 動詞の疑問文と否定文・前置詞・ There is / There are
	6		
前期期末	7	③ Lesson 9～12 一般動詞＝動詞－be 動詞他	③ 一般動詞の肯定文・疑問文・否定文 (1人称・2人称・3人称・複数)
	8	④ Lesson 13～16 いきなり動詞で始まるの？ be 動詞の過去形は was と were ! 他	④ 命令文・be 動詞の過去形 ⑤ 一般動詞の過去形 (規則動詞・不規則 動詞) ・否定文・疑問文
	9	⑤ Lesson 17～20 -(e)d を合体させると過去形ができた！他	
後期中間	10	⑥ Lesson 21～24 疑問詞の出番ですよ！ 進行形、忘れちゃいけない be 動詞。他	⑥ wh 疑問文・進行形の作り方 ⑦ 助動詞 (will ・ be going to ・ can ・ must ・ may) ・否定文・疑問文
	11	⑦ Lesson 25～28 Will を使って未来を語ろう！他 ⑧ Lesson 29～32 僕たち、ピンチヒッターです。他	⑧ be able to と have to ・ Will you ~ ? / Shall I ~ ? / Shall we ~ ? ・助動詞・ 疑問詞
後期期末	12	⑨ Lesson 33～36 点 (過去形) なの？線 (現在完了形) なの？他	⑩ 現在完了の表す意味と形・3つの用法 ⑪ 受動態の意味と形・疑問文と否定文
	1	⑩ Lesson 37～40 ここでも活躍、過去分詞。他	⑫ 関係代名詞 (主格・所有格・目的格) に ついて
	2	⑪ Lesson 41～44 関係代名詞は接着剤?! 他	

評価の割合	考查点 70% ・ 平常点 30%				
考查の実施	前期中間考查・前期期末考查・後期期末考查・後期期末考查				
平常点の評価 (30点)	主な評価内容	評価の観点			
		関心・意欲 態度	思考・判断 表現	技能	知識・理解
	1 授業態度	○	○	○	○
	2 出席状況	○			
	3 課題提出	○	○		○
4 小テスト	○	○	○	○	
留意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・単語テストを適宜行う。 ・座学と実技のバランスや4技能のバランスをとるように留意する。 ・失敗を恐れずに積極的に表現しようとする態度で授業に取り組むことが望ましい。 				

【家庭科】

家庭基礎

履修学科	商業科、美術・デザイン科
履修学年	第2学年
履修形態	必修
履修単位	2単位
教科書	家庭基礎 自立・共生・創造（東京書籍）

学期・月	項目	ねらい・教材など
前期中間	4	<ul style="list-style-type: none"> ・食生活をつくる 食生活の現状と課題 栄養素と食品 食品の保存 調理実習 ・住生活をつくる 住まいの計画 安全で衛生的な住まい
	5	
	6	
前期期末	7	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもと共に育つ 親の役割 子どもの成長のようすと生活 ・高齢社会を生きる 共に生き共に支える
	8	
	9	
後期中間	10	<ul style="list-style-type: none"> ・衣生活をつくる 衣服の機能を考える (衣服材料を知る) ・衣服計画を立てる (衣生活と環境) ・縫製の基礎
	11	
後期末	11	<ul style="list-style-type: none"> ・自分らしい人生をつくる 家族・家庭と法律 青年期の課題とは ・経済生活を営む 消費生活 ・生活を設計する
	12	
	1	
	2	
3		

評価の割合	考查点 70% 実技点・平常点 30%				
考查の実施	前期期末・学年末				
平常点の評価 (30点)	主な評価内容	評価の観点			
		関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
	1 授業態度	○	○	○	○
	2 出席状況	○			
	3 課題提出	○	○	○	○
4 小テスト		○	○	○	
留意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・人の一生と家族、家庭及び衣食住などに関する基礎的・基本的な知識と技術を習得する。 ・基礎縫製や調理実習などの作業では、集団での自己を理解し、互いに協力して仕事を進め、真剣な態度で実習に取り組むようにする。 				

【家庭科】

子どもの発達と保育

履修学科	普通科・保育コース
履修学年	第2学年
履修形態	必修
履修単位	2単位
教科書	「子どもの発達と保育」(実教出版)

学期・月		項目	ねらい・教材など
前期 中間	4	・人間としての発達	<ul style="list-style-type: none"> 人間の発達に関心を持ち、乳幼児期が人間の発達の基礎培う時期であることを理解する。 胎児の発育について理解し、生命誕生に関わる母体環境の重要性を学ぶ。
	5	・子どもの発育	
	6	1 胎児の発育・発達	
前期 期末	7	・保育検定 「看護」	<ul style="list-style-type: none"> 乳幼児の身体発育の特徴と傾向を理解する。 生理的特徴を学び、養護の重要性を理解する。 身体発育には個人差があり、それは遺伝子と環境が関わっていることを理解する。
	8	2 乳幼児の身体的特徴	
	9	3 乳幼児の生理的特徴 4 発育の評価	
後期 中間	10	・造形表現	<ul style="list-style-type: none"> 発達における方向性や順序性の共通性を理解する 精神発達の特徴を学び、乳幼児期が人格形成上重要な時期であることを理解する。 「言語」絵本の読み聞かせについて学ぶ
	11	・子どもの精神発達	
後期 期末	1	1 運動機能と感覚機能の発達	<ul style="list-style-type: none"> 発達における方向性や順序性の共通性を理解する 精神発達の特徴を学び、乳幼児期が人格形成上重要な時期であることを理解する。 「言語」絵本の読み聞かせについて学ぶ
	2	2 知的、言葉、情緒の発達	
	3	・人間関係の発達 ・保育検定 「言語」	
後期 期末	1	・児童観と発達観	<ul style="list-style-type: none"> 児童観、発達観は時代背景などにより変化していることを理解する。 児童福祉の理念や法律や制度について学び、児童の健全育成を目的としていることを理解する。
	2	・子どもの福祉	
	3		

評価の割合	考查点 70% 平常点 30%				
考查の実施	前期期末・学年末				
平常点の評価 (20点)	主な評価内容	評価の観点			
		関心・意欲 態度	思考・判断 表現	技能	知識・理解
	1 授業態度	○	○	○	○
	2 出席状況	○			
	3 課題提出	○	○	○	○
4 小テスト			○		
留意事項	全国高等学校家庭科保育技術検定受験				

【教科情報】

社会と情報

履修学科	普通科（保育コース）
履修学年	第2学年
履修形態	必修
履修単位	2単位
教科書	

学期・月	項目	ねらい・教材など		
前期中間	4 5 6	1章 情報社会と私たち 1. 情報社会 2. 情報とメディア 3. 情報モラルと社会のルール 2章 情報機器とデジタル表現 1. 情報機器とデジタル ----- 3章 表現と伝達 1. 表現の工夫	<ul style="list-style-type: none"> 情報や社会の意味、特徴について学ぶ 情報の残存性、複製性、伝播性など情報社会における情報の特徴について学ぶ 社会の情報化に伴い生じる問題について考え、理由と対処法について学ぶ 情報機器の仕組みについて学ぶ <ul style="list-style-type: none"> 文書ソフトウェアを用いた文書作成を、実習で学ぶ 	
	前期期末	7 8 9	2章 情報機器とデジタル表現 2. デジタル表現 4章 コミュニケーションとネットワーク 1. コミュニケーション ----- 3章 表現と伝達 2. 表計算ソフトの利用	<ul style="list-style-type: none"> アナログとデジタルの意味、情報量の単位について学ぶ ネットワークを活用したコミュニケーションの特徴と性質を学ぶ <ul style="list-style-type: none"> 表計算ソフトウェアを利用し、関数の利用等を実習で学ぶ
		後期中間	10 11 12	4章 コミュニケーションとネットワーク 2. ネットワーク 3. 情報セキュリティ 5章 情報社会と問題解決 1. 情報システムと人間 ----- 3章 表現と伝達 2. 表計算ソフトの利用
後期期末			1 2 3	5章 情報社会と問題解決 2. 問題解決 ----- 3章 表現と伝達 3. プレゼンテーション 5章 情報社会と問題解決 3. 情報発信

評価の割合	考查 60% 実技および平常点 40%				
考查の実施	前期期末考查、学年末考查				
平常点の評価 (40点)	主な評価内容	評価の観点			
		関心・意欲 態度	思考・判断 表現	技能	知識・理解
	1 授業態度	○	○	○	○
	2 出席状況	○	○		
	3 課題提出		○	○	○
4 小テスト		○	○	○	
留意事項					

【商業科】

ビジネス実務

履修学科	商業科（情報ビジネスコース）
履修学年	第2学年
履修形態	選択
履修単位	3単位
教科書	「ビジネス実務」（実教出版）

学期・月		項目	ねらい・教材など
前期中間	4	第2部 ビジネスと珠算 第1章 計算の基礎	<ul style="list-style-type: none"> ・ビジネス計算の基礎となる数の扱い方について、正確な知識を身に付けさせる。 ・正しい計算方法を身に付けさせるとともに、反復学習により習熟させ、計算力の向上を図る。
	5	第2章 珠算・電卓	
	6	第3章 暗算	
前期期末	7	第1部 オフィス実務 第1章 企業の組織と人間関係	<ul style="list-style-type: none"> ・企業の組織と意思決定の流れについてよく理解し、職業人としての心構えと良好な人間関係の構築の必要性、仕事の進め方について学ぶ。 ・社会人として望ましい心構えやビジネスマナーを身に付けさせる。
	8	第2章 ビジネスマナー	
	9		
後期中間	10	第3章 ビジネスコミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・ビジネスコミュニケーションの種類と特性について学ぶ。 ・オフィス環境整備の重要性、資料管理の方法、会議の準備と効果的な運営について学ぶ。
	11	第4章 オフィス業務	
学年末	12	第5章 税の申告と納付	<ul style="list-style-type: none"> ・納税の意義や税の種類と体系について学ぶ。
	1		
	2		
	3		

評価の割合	考查点 70% 平常点 30%				
考查の実施	前期中間 ・ 前期期末 ・ 後期中間 ・ 学年末				
平常点の評価 (30点)	主な評価内容	評価の観点			
		関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
	1 授業態度	○	○	○	○
	2 出席状況	○			
	3 課題提出	○	○	○	○
	4 小テスト	○	○	○	○
留意事項	・知識・技能の定着を図るため、6月に全商珠算・電卓実務検定試験、1月に全経社会常識マナー検定試験を受験する。				

【商業科】

財務会計 I

履修学科	商業科
履修学年	第2学年
履修形態	選択
履修単位	3単位
教科書	高校財務会計 I (実教出版)

学期・月	項 目	ねらい・教材など
前期中間	4 第1編 財務会計の基礎 1 企業と会計	○ 企業と会計の関連 ○ 企業会計制度について 財務諸表の作成に重点を置くための予備知識を理解してもらう。
	5 6 2 企業会計制度と会計法規	
	7 第2編 貸借対照表 1 貸借対照表のあらまし 役割、区分、様式	
前期末	8 2 資産の意味、分類、評価 流動資産、固定資産、流動負債、固定負債、資本金、剰余金、自己株式	○ 貸借対照表とはどういう表なのかをよく説明して理解してもらう。 ○ 実際に使用する科目や数字を入れながら説明をします。
	9 3 貸借対照表の作成	
	10 第3編 損益計算書 1 役割、区分、様式、意味、基準 2 損益計算書の作成	
後期中間	11 第4編 財務諸表の活用	○ 貸借対照表の総合問題を行い完成させる。最後に財政状態の意味を理解してもらう。 ○ 時間をかけて損益計算書を理解してもらい完成させます。 ○ 会社分析を数字を使い理解してもらう。
	12 第5編 連結財務諸表 1 連結の概況 2 連結財務諸表の作成	
学年末	1 最後のまとめ	○ 連結における開示の説明をします。 ○ 連結作成方法の説明をします。 ○ 会計のルールを理解してもらうため例えば、企業会計法等の説明をします。
	2 1 会計の必要性について	
	3 2 会計の諸規則について	

評価の割合	考查点 70% 平常点 30%				
考查の実施	前期中間・前期末・後期中間・学年末				
平常点の評価 (30点)	主な評価内容	評価の観点			
		関心・意欲 態度	思考・判断 表現	技能	知識・理解
	1 授業態度	○	○	○	○
	2 出席状況	○			
	3 課題提出	○	○	○	○
4 小テスト	○	○	○	○	
留意事項	<ul style="list-style-type: none"> 1年次で学習した「簿記」を発展させた学習です。 記帳を中心とした学習から理論を導入して会計の集大成としての学習です。 新しく連結財務諸表(親会社・小会社)の学習を行います。 大学進学、高資格取得を目標としている生徒には履修することが望ましい科目です。 				

【商業科】

ビジネス情報

履修学科	商業科
履修学年	第2学年
履修形態	必修(情ビ)・選択(進ラ)
履修単位	4単位
教科書	ビジネス情報(実教出版)

学期・月		項目	ねらい・教材など
前期中間	4	1 オフィス業務と情報通信ネットワーク	<ul style="list-style-type: none"> 業務の情報化の必要性、情報通信ネットワークの導入と運用及びデータの保護を取り扱い、オフィス業務において情報通信ネットワークを効果的に活用するための基礎的な知識と技術を習得する。
	5		
	6		
前期期末	7	2 表計算ソフトウェアの活用	<ul style="list-style-type: none"> ビジネス計算とデータの集計・分析、オペレーションリサーチ及び手続の自動化を取り扱い、ビジネスの諸活動において表計算ソフトウェアを有効に活用するための基礎的な知識と技術を習得する。
	8		
	9		
後期中間	10	3 データベースソフトウェアの活用	<ul style="list-style-type: none"> ビジネスに関する情報のデータベース化、手続きの自動化などを取り扱い、ビジネスの諸活動においてデータベースソフトウェアを有効に活用するための基礎的な知識と技術を習得する。
	11		
学年末	12	4 ソフトウェアを活用したシステム開発	<ul style="list-style-type: none"> 表計算ソフトウェアやデータベースソフトウェアを活用したシステムの開発を取り扱い、簡易なビジネス情報システムを開発するための基礎的な知識と技術を習得する。
	1		
	2		
	3		

評価の割合	考查点 60% 平常点 40%				
考查の実施	前期中間・前期期末・後期中間・学年末				
平常点の評価 (40点)	主な評価内容	評価の観点			
		関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
	1 授業態度	○	○	○	○
	2 出席状況	○			
	3 課題提出	○	○	○	○
4 小テスト	○	○	○	○	
留意事項	<ul style="list-style-type: none"> 授業のクラスは習熟度別に編成します。 学習到達度測定の一環として、以下の検定試験を一つの目標に学習します。 9月、1月 全国商業高等学校協会主催情報処理検定 				

【商業科】

情報デザイン

履修学科	商業科
履修学年	第2・3学年(情報) 第3学年(進学)
履修形態	必須
履修単位	2・3年情報各2単位、3年進学3単位
教科書	

学期・月	項目	ねらい・教材など
前期中間	4 オリエンテーション	<ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーションでは、社会人としてのパソコンによる文書作成の重要性、必要性について学習します。 ・タイピングでは、タッチタイピングを身に付け、正確に打てるよう練習をします。 ・文書作成実習では、ビジネス文書の作成方法を学習します。
	5 タイピング実習	
	6 文書作成実習	
前期期末	7 機械・機械操作	<ul style="list-style-type: none"> ・文書作成ソフトにおける操作方法、用語を学習します。 ・ビジネス(企業)における各種文書の内容、作成に関わる知識を学習します。
	8 文書の種類・作成	
	9	
後期中間	10 プレゼンテーション	<ul style="list-style-type: none"> ・プレゼンテーション(発表)を行ううえでの、準備・作成方法・発表の仕方を学習します。 ・文書を作成する者として知っておきたい、日本語の知識を学習します。
	11 ことばの知識	
学年末	12 総合演習	<ul style="list-style-type: none"> ・1年間の総復習として、習得した技術・知識を確認し、個々のレベルに合わせて、問題演習を行います。
	1	
	2	
	3	

評価の割合	考查点 60% 平常点 40%				
考查の実施	前期中間(第3学年のみ)・前期期末・学年末				
平常点の評価 (40点)	主な評価内容	評価の観点			
		関心・意欲 態度	思考・判断 表現	技能	知識・理解
	1 授業態度	○	○		
	2 出席状況	○			
	3 課題提出	○	○	○	○
4 小テスト	○	○	○	○	
留意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・ビジネスマンにとって必要不可欠な文書の作成方法、作成にあたって知っておきたい日本語の使い方を学習します。 ・パソコンでの実習が主となりますが、教室での座学を行うこともあります。 ・テキストについては、授業の際に提示します。 				

【商業科】

簿記研究

履修学科	商業科
履修学年	第2学年
履修形態	選択
履修単位	3単位
教科書	新簿記（実教出版）

学期・月		項目	ねらい・教材など
前期 中間	4	第6編 取引の記帳（その2） 第26章 特殊な商品売買の取引 第27章 特殊な手形の取引	<ul style="list-style-type: none"> ・割賦販売・委託販売・試用販売・予約販売の販売方法および未着商品売買の意味を明らかにし、それぞれの記帳方法を理解させ、習熟をはかる。 ・自己受為替手形の手形関係を明らかにし、その記帳方法を理解させる。 ・手形の書き換え・荷付為替手形・手形保証債務の意味を明らかにし、その記帳方法を理解させる。 ・手形が不渡りになった場合の処理手続きと記帳方法を理解させる。
	5		
	6		
前期 期末	7	第7編 仕訳帳の分割 第28章 仕訳帳の分割 第29章 5伝票による記帳	<ul style="list-style-type: none"> ・単一仕訳帳制度による記帳の流れを復習させ、記帳の合理化の意味を明らかにし、その方法について理解させる。 ・特殊仕訳帳・仕訳帳の分割の意味を明らかにし、複合仕訳帳制度のしくみとその長所を理解させる。 ・現金出納帳・当座預金出納帳・仕入帳・売上帳を、それぞれ特殊仕訳帳として用いた場合の記帳方法、転記のしかたを十分に理解させ、習熟させる。 ・5伝票の集計・転記のしかたを理解させる。
	8		
	9		
後期 中間	10	第8編 本支店会計 第30章 本支店の取引 第31章 本支店の財務諸表の合併	<ul style="list-style-type: none"> ・支店会計の独立の意味を理解させる。 ・支店会計が独立している場合の本支店間の取引、支店相互間の取引の記帳方法を理解させる。 ・本支店合併の貸借対照表・損益計算書の作り方を理解させ、その作成に習熟させる。
	11		
学年 末	12	発展編 株式会社の取引 第32章 株式会社の取引（その1） 第33章 株式会社の取引（その2）	<ul style="list-style-type: none"> ・株式会社の設立と株式の発行時の記帳方法を理解させる。 ・純利益の計上余剰金の配当および処分に関する取引の記帳方法を理解させる。 ・社債の意味と発行、利払い、決算および社債の償還時における記帳方法を理解させる。 ・法人税・住民税・事業税の記帳方法を理解させる。
	1		
	2		
	3		

評価の割合	考查点 70 % 平常点 30 %				
考查の実施	前期中間・前期期末・後期中間・学年末				
平常点の評価 (30点)	主な評価内容	評価の観点			
		関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
	1 授業態度	○	○	○	○
	2 出席状況	○			
	3 課題提出	○	○	○	○
4 小テスト	○	○	○	○	
留意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・1年次に学んだ簿記の授業の知識を活かし、簿記の応用を学習します。 ・能力・適性に応じ、習熟別授業を展開し、「簿記」の知識を深めます。 				

【商業科】

マーケティング

履修学科	商業科(進学ライセンスコース)
履修学年	第2学年
履修形態	必修
履修単位	2単位
教科書	マーケティング(実教出版)

学期・月		項目	ねらい・教材など
前期中間	4	1 現代市場とマーケティング 2 市場調査 3 消費者行動	<ul style="list-style-type: none"> 現代市場の特徴とマーケティングの概要について学習する。 市場調査の意味や方法について学習する。 消費者行動と購買意思決定過程について学習する。
	5		
	6		
前期期末	7	4 販売計画 5 製品計画	<ul style="list-style-type: none"> 販売計画の立案・実施・統制について学習する。 製品計画の開発や必要性、製品のライフサイクルについて学習する。
	8		
	9		
後期中間	10	6 仕入計画と商品管理 7 販売価格	<ul style="list-style-type: none"> 仕入計画と商品管理について学習する。 販売価格の決定と戦略について学習する。
	11		
学年末	12	8 販売経路 9 販売促進	<ul style="list-style-type: none"> 販売経路の設定と強化について学習する。 販売促進の意味と進め方について学習する。 広告・ブランド・信用販売について学習する。
	1		
	2		
	3		

評価の割合	考查点 70% 平常点 30%				
考查の実施	・前期中間 ・前期期末 ・後期中間 ・学年末				
平常点の評価 (30点)	主な評価内容	評価の観点			
		関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
	1 授業態度	○	○	○	○
	2 出席状況	○			
	3 課題提出	○	○	○	○
4 小テスト	○	○	○	○	
留意事項	学習到達度測定の一環として、以下の検定試験を一つの目標として学習します。 2月 全国商業高等学校協会主催商業経済検定(マーケティング)				

【商業科】

原価計算

履修学科	商業科（進学ライセンスコース）
履修学年	第2学年
履修形態	選択
履修単位	4単位
教科書	原価計算（実教出版）

学期・月		項 目	ねらい・教材など
前期中間	4	第1編 原価計算の基礎	<ul style="list-style-type: none"> 原価計算についての流れと1年間の学習計画について説明します。 工業簿記の特色と仕組みを説明して理解してもらいます。 使用する用語の説明をします。
	5	1 原価と原価計算	
	6	2 原価計算のあらまし 3 工業簿記（製造業における簿記）	
前期末	7	第2編 原価の費目別計算	<ul style="list-style-type: none"> 材料、労務費、経費の生産に必要な3要素の詳しい説明を行い十分に理解してもらいます。
	8	1 材料費の計算と記帳	
	9	2 労務費の計算と記帳 3 経費の計算と記帳	
後期中間	10	第3編 原価の部門別計算と製品別計算	<ul style="list-style-type: none"> 手続きと記入方法を学習します。1個当たりの単価の計算を説明します。 各種原価計算における差異分析を詳しく説明します。 本社と工場間の取引の説明をします。
	11	1 個別原価計算・部門別個別原価計算 2 総合原価計算 3 工程別総合原価計算	
		第4編 製品の完成・販売と決算 1 完成処理・本社工場会計について	
学年末	12	第5編 標準原価計算の基礎	<ul style="list-style-type: none"> ここでは差異分析（標準と実際のズレ）の学習が主になります。 損と益の利益計画を固定費と変動費から探る計算を行います。
	1	1 標準原価計算についての処理・分析・表の作成等	
	2	第6編 直接原価計算の基礎	
	3	1 利益計画と直接原価計算 *総復習	

評価の割合	考查点 70% 平常点 30%				
考查の実施	前期中間・前期末・後期中間・学年末				
平常点の評価 (30点)	主な評価内容	評価の観点			
		関心・意欲 態度	思考・判断 表現	技能	知識・理解
	1 授業態度	○	○	○	○
	2 出席状況	○			
	3 課題提出	○	○	○	○
	4 小テスト	○	○	○	○
留意事項	<ul style="list-style-type: none"> 1年生では学習していないので、新たな気持ちで学習できると思います。 ただし、全商1級の取得を目指す生徒や資格取得で大学を目指す生徒にとってはかならず履修することが望ましい科目です。 				

【美術科】

美術史

履修学科	美術・デザイン科
履修学年	第2学年
履修形態	必修
履修単位	2単位
教科書	なし

学期・月		項目	ねらい・教材など
前期 中間	4	〈西洋美術史〉 ルネサンス以前 ルネサンス バロック・ロココ	毎回いくつかの作品を取り上げ、鑑賞を通して西洋美術史についての基本知識を身につける。専門用語、ジャンルや時代区分を知り、各時代の代表的な作品の特徴を理解する。
	5		
	6		
前期 期末	7	〈西洋美術史〉 ロマン主義～印象派 世紀末美術 20世紀以降の美術	毎回いくつかの作品を取り上げ、鑑賞を通して西洋美術史についての基本知識を身につける。専門用語、ジャンルや時代区分を知り、各時代の代表的な作品の特徴を理解する。 また、各自あるアーティストについて調べてまとめることで理解を深める。
	8		
	9		
後期 中間	10	〈日本美術史〉 先史・古墳時代の美術 古代美術（飛鳥時代～平安時代） 中世美術（鎌倉時代～室町時代） 近世美術（桃山時代～江戸時代）	毎回いくつかの作品を取り上げ、鑑賞を通して日本美術史についての基本知識を身につける。専門用語、ジャンルや時代区分を知り、各時代の代表的な作品の特徴を理解する。
	11		
	12		
後期 期末	1	〈日本美術史〉 近代と現代の美術（明治時代～昭和時代） 戦後の美術 現代美術	毎回いくつかの作品を取り上げ、鑑賞を通して日本美術史についての基本知識を身につける。専門用語、ジャンルや時代区分を知り、各時代の代表的な作品の特徴を理解する。 また、各自あるアーティストについて調べてまとめることで理解を深める。
	2		
	3		

評価の割合	課題評価80% 平常点20%					
考査の実施	なし					
平常点の評価 (20点)	主な評価内容	評価の観点				
		関心・意欲 態度	思考・判断 表現	技能	知識・理解	
		1 授業態度	○	○		○
		2 出席状況	○			
	3 課題提出	○	○	○	○	
留意事項						

【美術科】

素描

履修学科	美術・デザイン科
履修学年	第2学年
履修形態	必修
履修単位	2単位
教科書	なし

学期・月		項目	ねらい・教材など
前期 中間	4	〈静物デッサンⅠ〉 静物デッサン 形・明暗・材質・空間の理解	<ul style="list-style-type: none"> 基本形態の理解を深める。 様々なモチーフの形体や材質や関係性、空間などを意識しながら描く。
	5		
	6		
前期 期末	7	〈石膏デッサン〉 石膏像（胸像） 形・明暗・空間の理解 〈構成デッサン〉 自画像	<ul style="list-style-type: none"> 石膏像を注意深く観察し、構図や形、明暗、材質といった要素を総合的に学ぶ。 与えられたモチーフを構成し、時間内にデッサンを仕上げる。
	8		
	9		
後期 中間	10	〈静物デッサンⅡ〉 静物デッサン 形・明暗・材質・空間の理解	<ul style="list-style-type: none"> 様々なモチーフの形体や関係性、空間などを意識しながら描く。 材質の違うモチーフをよく観察してデッサンを仕上げる。
	11		
	12		
後期 期末	1	〈人物デッサン〉 人体の理解 構図・プロポーションの理解 〈構成デッサン〉 手	<ul style="list-style-type: none"> 人物モデルをスケッチすることで人体の構造の理解を深める。 構図やプロポーション、動きなどを意識しながら描く。 与えられたモチーフを構成し、時間内にデッサンを仕上げる。
	2		
	3		

評価の割合	課題評価（考査含む）80% 平常点20%				
考査の実施	年2回実施 前期期末・後期期末				
平常点の評価 (20点)	主な評価内容	評価の観点			
		関心・意欲 態度	思考・判断 表現	技能	知識・理解
	1 授業態度	○	○		○
	2 出席状況	○			
	3 課題提出	○	○	○	○
留意事項					

【美術科】

グラフィック基礎

履修学科	美術・デザイン科
履修学年	第2学年
履修形態	必修
履修単位	2単位
教科書	

学期・月		項目	ねらい・教材など
前期中間	4	I.デザインの仕事 ・デザインとデザイナー ・デザインワークフロー	<ul style="list-style-type: none"> デザインの現場における実際のワークフローに準じて、仕事の内容や注意点などを理解し、デザインのワークフローの全体像を把握する。 Apple iMac Adobe Photoshop、Illustrator
	5		
	6		
前期期末	7	II.課題制作(1) ・名刺・ポストカードを作る ・ピクトグラムを作る ・ロゴマーク（ラベル）を作る	<ul style="list-style-type: none"> デザインの仕事として代表的なケースを厳選し、ヒアリングから完成までの流れをイメージする。 クライアントから聞き取り（ヒアリング）をすることから課題がスタートし、デザインステップに沿って進行します。
	8		
	9		
後期中間	10	III.課題制作(2) ・ポスターを作る ・チラシを作る	<ul style="list-style-type: none"> クライアントからの会話の中で得られた情報、ニーズを感じて、考え、調査しそれらを元にデザインに表現していく過程をしっかりと身につけていく。 自由な発想で課題を制作させる。 紙媒体以外の制作
	11		
	12		
後期期末	1	IV.テクニックガイド ・デザインプランとコンセプト ・レイアウトと構図 ・色と配色 ・画像とフォント	<ul style="list-style-type: none"> それぞれの場面で必要な知識や、役に立つ技術などを理解させる。 印刷物としてのデータの作り方。 デザインワークの効率化や品質向上するための知識を理解させる。
	2		
	3		

評価の割合	課題評価点 80% 平常点 20%				
考査の実施	実施しない				
平常点の評価 (20点)	主な評価内容	評価の観点			
		関心・意欲 態度	思考・判断 表現	技能	知識・理解
	1 授業態度	○	○		○
	2 出席状況	○			
	3 課題提出	○	○	○	○
留意事項	考査を行わず、課題評価と平常点で評価を行います。授業にしっかり取り組み、課題は必ず提出するようにしてください、				

【美術科】

専攻実習基礎

履修学科	美術・デザイン科
履修学年	第2学年
履修形態	必修
履修単位	4単位
教科書	

学期・月		項目	ねらい・教材など
前期 中間	4	基礎演習Ⅰ ※領域を選択 美術領域基礎（洋画）（日本画）	<ul style="list-style-type: none"> 洋画と日本画の性質を理解し、道具の使い方を学ぶ。描画の基本的な技法を体験する。 デザインに関する基礎を学び、ビジュアルデザイン表現を学ぶ。 総合造形に関する基礎を学び、素材に触れながら、構成物、オブジェ、彫刻などの立体表現の技術を学ぶ。
	5	デザイン領域基礎 （デザイン基礎Ⅰ）（デザイン基礎Ⅱ）	
	6	総合造形領域基礎 （造形基礎Ⅰ）（塑像基礎Ⅰ）	
前期 期末	7	基礎演習Ⅱ ※領域を選択 〈課題研究①〉	<ul style="list-style-type: none"> 美術領域における表現・技法等を研究し、独自の表現を追及する。 デザインの基礎を活かして、イラストレーションや建築表現などを学ぶ。 課題制作を通して、立体に対する観察力、を深め基礎的な造形力と創造的な感覚を養う。
	8	美術領域の技法研究	
	9	デザイン領域の技法研究 総合造形領域の技法研究	
後期 中間	10	基礎演習Ⅲ ※領域を選択 美術領域基礎（洋画）（日本画）	<ul style="list-style-type: none"> 洋画と日本画の性質を理解し、道具の使い方を学ぶ。描画の基本的な技法を体験する。 デザインに関する基礎を学び、ビジュアルデザイン表現を学ぶ。 総合造形に関する基礎を学び、素材に触れながら、構成物、オブジェ、彫刻などの立体表現の技術を学ぶ。
	11	デザイン領域基礎 （デザイン基礎Ⅰ）（デザイン基礎Ⅱ）	
	12	総合造形領域基礎 （造形基礎Ⅰ）（塑像基礎Ⅰ）	
後期 期末	1	基礎演習Ⅳ ※領域を選択 〈課題研究②〉	<ul style="list-style-type: none"> 美術領域における表現・技法等を研究し、独自の表現を追及する。 デザインの基礎を活かして、イラストレーションや建築表現などを学ぶ。 課題制作を通して、立体に対する観察力、を深め基礎的な造形力と創造的な感覚を養う。
	2	美術領域の技法研究	
	3	デザイン領域の技法研究 総合造形領域の技法研究	

評価の割合	課題評価（考査含む）80％ 平常点20％				
考査の実施	年2回実施 前期期末・後期期末				
平常点の評価 （20点）	主な評価内容	評価の観点			
		関心・意欲 態度	思考・判断 表現	技能	知識・理解
	1 授業態度	○	○		○
	2 出席状況	○			
	3 課題提出	○	○	○	○
留意事項					

【家庭科】

幼児教育実習

履修学科	普通科・保育コース(子ども教育系)
履修学年	第2学年
履修形態	必修
履修単位	2単位
教科書	なし

学期・月		項目	ねらい・教材など
前期中間	4	・児童文化財について	・児童文化財などについて理解し、実技を通して技術を学ぶ。
	5	・絵本の読み聞かせ	
	6	・保育園と幼稚園の違い ・子どもの発達と遊び ・ペーパサートについて(制作・発表) ・折り紙の基本	
前期期末	7	・保育検定	・「言語表現」絵本の読み聞かせについて学ぶ。 ・「造形表現」折り紙の基本を習得する。
	8		
	9		
後期中間	10	・描写と折り紙での表現	・保育園、幼稚園施設見学に備え、心構えなどを理解する。
	11	・乳幼児の衣服着脱について	
	12	・施設見学について ・紙芝居について	
後期期末	1	・保育検定	・「言語表現」紙芝居について学ぶ。 ・「造形表現」描写と折り紙での表現を学ぶ。 ・パネルシアターを制作し、発表する。
	2	・パネルシアターについて(制作・発表)	
	3	・保育士について ・まとめ	

評価の割合	考查点 70% 実技点・平常点 30%				
考查の実施	前期期末				
平常点の評価 (20点)	主な評価内容	評価の観点			
		関心・意欲 態度	思考・判断 表現	技能	知識・理解
	1 授業態度	○	○	○	○
	2 出席状況	○	○	○	
	3 課題提出	○		○	○
4 小テスト	○				
留意事項	全国高等学校家庭科 保育技術検定				

【保育】

音楽・リズム表現

履修学科	普通科・保育コース（子ども教育系）
履修学年	第2学年
履修形態	必修
履修単位	2単位
教科書	なし

学期・月		項目	ねらい・教材など
前期 中間	4	・歌唱	<ul style="list-style-type: none"> ・歌唱の基礎を学ぶことで、幼児教育者に必要な歌唱の基礎技術を身に付ける。 ・音を聞き、それを感じて体を動かし音楽を学ぶ方法で、創造性や想像性を身に付ける。
	5	・鍵盤奏	
	6	＊リトミック	
前期 期末	7	・歌唱	<ul style="list-style-type: none"> ・歌唱の基礎、音楽の基礎理論を学ぶ。 ・身に付けた歌唱力、合奏の成果を発表する。
	8	＊合唱	
	9	＊合奏	
後期 中間	10	・合唱	<ul style="list-style-type: none"> ・歌唱、ピアノの基礎的な技術を習得する。 ・歌う事や楽器を演奏することを通し、子どもの感性をはぐくむような音楽活動が出来る力を身に付ける。
	11	・合奏	
	12		
後期 期末	1	・歌唱	<ul style="list-style-type: none"> ・学んだ知識、身に付けた技術を生かし実践する。 ・身に付けた歌唱力、合奏の成果を発表することで、演奏者のマナーや心構えを学ぶ。 ・音楽の基礎理論を学び、楽譜を理解する。
	2	・ピアノ	
	3	・楽典	

評価の割合	考查点 40% 平常点 10% 実技 50%				
考查の実施	前期期末・学年末				
平常点の評価 (20点)	主な評価内容	評価の観点			
		関心・意欲 態度	思考・判断 表現	技能	知識・理解
	1 授業態度	○	○	○	○
	2 出席状況	○			
	3 課題提出	○	○	○	
4 小テスト			○	○	
留意事項	集団での自己の責任を理解し、互いに協力して実習に取り組む。				

【教 養】

看護医療探究

履修学科	普通科（進学コース看護医療系）
履修学年	第2学年
履修形態	必修
履修単位	2単位
教科書	

学期・月		項 目	ねらい・教材など
前期中間	4	<ul style="list-style-type: none"> ・看護・医療学総論 1) 看護の本質 2) 看護倫理 ・公衆衛生看護 ・成人看護学概論 ・災害看護学総論 	<ul style="list-style-type: none"> ・看護の定義、看護の対象、看護の機能と役割を理解する。また、医療系分野において幅広い知識を習得する。 ・看護活動の分野、看護職とその倫理を理解する。 ・医療系分野において幅広い知識を習得する。 ・応急処置から災害時における看護について、幅広く理解する。
	5		
	6		
前期期末	7	<ul style="list-style-type: none"> ・小児看護学総論 ・母性看護学総論 ・臨床工学概論 	<ul style="list-style-type: none"> ・小児看護の機能と意義や問題点を理解する。 ・広く女性の一生を視野に入れた性と生殖に関する健康問題とその看護について学習する。 ・生命維持管理装置などの解説を通し、臨床工学技士の仕事内容や役割を理解する。
	8		
	9		
後期中間	10	<ul style="list-style-type: none"> ・言語発達学 ・視能検査機器概論 ・リハビリテーション概論 1) 理学療法 2) 作業療法 	<ul style="list-style-type: none"> ・言語発達学を通し、言語聴覚士の仕事内容や役割を理解する。 ・視能検査機器などの解説を通し、視能訓練士の仕事内容や役割を理解する。 ・リハビリテーション分野の知識の習得とその現状について理解する。
	11		
学年末	12	<ul style="list-style-type: none"> ・生命倫理学 ・障害発達心理学 ・リハビリテーション心理 ・チーム医療論 	<ul style="list-style-type: none"> ・医療従事者と臨床哲学の関連性について、対話、問答、会話などを通して理解する。 ・リハビリテーションを必要とする患者の心理的問題を理解する。 ・現代医療の問題などを含め、チーム医療の重要性を理解する。
	1		
	2		
	3		

評価の割合	考查点 60% 平常点 40%				
考查の実施	前期期末・学年末				
平常点の評価 (40点)	主な評価内容	評価の観点			
		関心・意欲 態度	思考・判断 表現	技能	知識・理解
	1 授業態度	○	○		○
	2 出席状況	○			
	3 課題提出	○	○	○	○
4 小テスト・レポート	○	○	○	○	
留意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・看護医療系連携講座として職業理解も含めた、外部講師による模擬講義を実施。 ・演習については、真摯な姿勢で取り組み、レポートや報告書はしっかり書くこと。 				

【教養】

未来創造基礎

履修学科	普通科（未来創造コース）
履修学年	第2学年
履修形態	必修
履修単位	2単位
教科書	

学期・月	項目	ねらい・教材など
前期中間	4 未来を考える。 ・将来の夢 ・職業について知る。（職業とは？働くとは？）	<ul style="list-style-type: none"> ・講話や体験学習を通じて、自分の将来について考える。 ・パソコンの基本操作を身につける。主にワードによる文章作成。 ・適切な論理を使った文章を書けるようになる。 ・文章を論理的に読んで自分の意見を持つ。 ・相手意識や目的意識を持って話せるようになる。
	5 仕事に必要な知識や技能を身につける。	
	6 ・パソコンの基本操作（ワードなど） ・「書く」「読む」「聞く・話す」の力を伸ばす。	
前期期末	7 仕事に必要な知識や技能を身につける。 ・パソコンの基本操作（ワードなど）	<ul style="list-style-type: none"> ・パソコンの基本操作を身につける。主にワードによる文章作成。 ・適切な論理を使った文章を書けるようになる。 ・文章を論理的に読んで自分の意見を持つ。 ・相手意識や目的意識を持って話せるようになる。
	8 ・「書く」「読む」「聞く・話す」の力を伸ばす。	
	9	
後期中間	10 未来を考える。 ・様々な職業（職種や職業について）知る。	<ul style="list-style-type: none"> ・講話や体験学習を通じて、進路や応用科目の選択に活かす。 ・電卓の基本的な使い方と計算の基礎を学ぶ。 ・適切な論理を使った文章を書けるようになる。 ・文章を論理的に読んで自分の意見を持つ。 ・相手意識や目的意識を持って話せるようになる。
	11 仕事に必要な知識や技能を身につける。 ・電卓の基礎と計算	
	12 ・「書く」「読む」「聞く・話す」の力を伸ばす。	
後期末	1 未来を考える。 ・様々な職業（職種や職業について）知る。	<ul style="list-style-type: none"> ・電卓の基本的な使い方と計算の基礎を学ぶ。 ・適切な論理を使った文章を書けるようになる。 ・文章を論理的に読んで自分の意見を持つ。 ・相手意識や目的意識を持って話せるようになる。
	2 仕事に必要な知識や技能を身につける。 ・電卓の基礎と計算。	
	3 ・「書く」「読む」「聞く・話す」の力を伸ばす。	

評価の割合	小テスト・レポート・課題評価70% 平常点30%				
考査の実施	定期考査期間には実施しない				
平常点の評価 (30点)	主な評価内容	評価の観点			
		関心・意欲 態度	思考・判断 表現	技能	知識・理解
	1 授業態度	○	○	○	○
	2 出席状況	○			
	3 課題提出	○	○	○	○
4 小テスト	○	○	○	○	
留意事項	追試については定期考査期間中に行う。				

【教養】

未来創造応用 A

(自動車領域)

履修学科	普通科（未来創造コース）
履修学年	第2学年
履修形態	必修
履修単位	2単位
教科書	

学期・月		項目	ねらい・教材など
前期 中間	4	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車にかかわる仕事と目指し方 ・自動車整備について ・見学（ディーラー、用品販売店、整備学校） ・自動車の種類と概要 	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車にかかわる仕事について、実際に企業や学校を見学し、いろいろな職業があることを知る。 ・自動車の歴史や種類、概要についてスライド等を用いて学ぶ。
	5		
	6		
期末	7	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車の基礎（エンジン、動力伝達装置、操舵・懸架装置） ・実技応用（エンジンの分解・組立実習） 	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車の仕組みについて、スライド等を用いて学ぶ。 ・エンジンの分解・組立実習を行い、座学で学んだ仕組みについて確認を行う。
	8		
	9		
後期 中間	10	<ul style="list-style-type: none"> ・実技応用（実車を用いた仕組みの確認や日常点検） ・自動車応用（HV・EV・FCV）（予防安全技術） 	<ul style="list-style-type: none"> ・実車を見ながら、学んだ自動車の仕組みや日常点検等について知る。 ・先進技術や予防安全技術についてスライド等を用いて学ぶ。
	11		
	12		
後期 期末	1	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車応用（運転支援技術） ・自動車総合 	<ul style="list-style-type: none"> ・運転支援技術等の先進技術についてスライド等を用いて学ぶ。 ・一年間学んだ内容について実車を見ながら確認、実技テスト等を行う。
	2		
	3		

評価の割合	レポート・実技点70% 平常点30%				
考査の実施	定期考査期間には実施しない				
平常点の評価 (30点)	主な評価内容	評価の観点			
		関心・意欲 態度	思考・判断 表現	技能	知識・理解
	1 授業態度	○	○	○	○
	2 出席状況	○			
	3 課題提出		○		○
4 レポート・小テスト		○	○	○	
留意事項	実習の時には制服、ジャージ等TPOに応じた服装を指示するので守ること。毎回レポートを課すので、きちんと提出すること。				

【教養】

未来創造応用 A (フード領域)

履修学科	普通科 (未来創造コース)
履修学年	第2学年
履修形態	必修
履修単位	2単位
教科書	

学期・月	項目	ねらい・教材など
前期中間 4 5 6	<ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーション (授業内容・職業観等) ・食の歴史と文化 (1) ・食の歴史と文化 (2) ・実習 (栽培を含む) ・マナーとディスプレイとコーディネート(1) 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の内容を理解し、実習を通して、職業の種類について知る。 ・日本をはじめ、世界の食べ物の歴史と文化を知る。 ・校内の畑を利用し、季節の野菜等を栽培する。
	<ul style="list-style-type: none"> ・食品・食材の特性と性質 ・実習 (1) ・実習 (2) ・マナーとディスプレイとコーディネート(2) 	<ul style="list-style-type: none"> ・洋食や洋菓子・和食や和菓子で使用する材料や道具、下準備などの基本的なことを理解し、実習に取り組む。
	<ul style="list-style-type: none"> ・実習 (3) ・実習 (4) ・マナーとディスプレイとコーディネート(3) 	<ul style="list-style-type: none"> ・飲み物の入れ方やいただき方、ラッピングの仕方を理解し、身につける。 ・野菜の収穫を行い、調理へと結びつける。 ・お菓子等の陳列や接客の仕方を学び、実践・体験する。
後期中間 10 11 12	<ul style="list-style-type: none"> ・実習 (3) ・実習 (4) ・マナーとディスプレイとコーディネート(3) 	<ul style="list-style-type: none"> ・飲み物の入れ方やいただき方、ラッピングの仕方を理解し、身につける。 ・野菜の収穫を行い、調理へと結びつける。 ・お菓子等の陳列や接客の仕方を学び、実践・体験する。
後期期末 1 2 3	<ul style="list-style-type: none"> ・マナーとディスプレイとコーディネート(4) ・実習のまとめ ・まとめ 	<ul style="list-style-type: none"> ・陳列や接客の仕方を学び、実践・体験する。 ・実習等を通し職業について考える。

評価の割合	レポート・実技点70% 平常点30%				
考査の実施	定期考査期間には実施しない				
平常点の評価	主な評価内容	評価の観点			
		関心・意欲 態度	思考・判断 表現	技能	知識・理解
	1 授業態度	○	○	○	○
	2 出席状況	○		○	
	3 課題提出	○	○		○
4 レポート・小テスト		○		○	
留意事項					

【未来創造応用科目】

未来創造応用 A

(ものづくり領域)

履修学科	普通科未来創造コース
履修学年	第2学年
履修形態	必修
履修単位	2単位
教科書	

学期・月	項目	ねらい・教材など	
前期中間	4	<ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーション ・ものづくり（クラフト）の仕事とは ・〈クラフト体験Ⅰ〉 ※年間ローテーションで陶芸・七宝・染織の3分野を体験	<ul style="list-style-type: none"> ・ものづくり（クラフト）の仕事を理解する。 ・各工芸分野（陶芸・七宝・選択）の基礎技法を体験しものづくりの楽しさを味わう。
	5		
	6		
前期期末	7	<ul style="list-style-type: none"> ・工房見学 仙台の伝統工芸 ・東北生活文化大学との連携Ⅰ 工房見学 ・社会に広がるものづくりのデザインについて ・クラフト体験Ⅱ ※年間ローテーションで陶芸・七宝・染織の3分野を体験	<ul style="list-style-type: none"> ・ものづくりに関する工房や施設を見学し、ものづくりの歴史や伝統的な技法について理解する。 ・各工芸分野（陶芸・七宝・選択）の基礎技法を習得し、課題作品を制作する。
	8		
	9		
後期中間	10	<ul style="list-style-type: none"> ・伝統・現代工芸展鑑賞 ・東北生活文化大学との連携Ⅱ 体験授業 ・クラフト体験Ⅲ ※年間ローテーションで陶芸・七宝・染織の3分野を体験	<ul style="list-style-type: none"> ・ものづくりに関する展覧会等を見学し、ものづくりの歴史や伝統的な技法について理解する。 ・各工芸分野（陶芸・七宝・選択）の基礎技法を習得し、課題作品を制作する。
	11		
	12		
後期期末	1	<ul style="list-style-type: none"> ・工房見学Ⅰ 仙台の伝統工芸 ・クラフト体験Ⅳ ※年間ローテーションで陶芸・七宝・染織の3分野を体験	<ul style="list-style-type: none"> ・ものづくりに関する展覧会等を見学し、ものづくりの歴史や伝統的な技法について理解する。 ・自分たちが制作した作品の鑑賞・講評からものづくりの楽しさをあらためて味わう。 ・現代におけるものづくりの役割を理解する。
	2		
	3		
		<ul style="list-style-type: none"> ・作品鑑賞と講習会 ・まとめ 現代におけるものづくり（クラフト）の役割について 	

評価の割合	レポート点40%、実技・作品点40%、平常点20%				
考査の実施	定期考査期間には実施しない				
平常点の評価 (20点)	主な評価内容	評価の観点			
		関心・意欲 態度	思考・判断 表現	技能	知識・理解
	1 授業態度	○	○		○
	2 出席状況	○			
	3 課題提出	○		○	○
	4 レポート・小テスト		○	○	○
留意事項					

【教養】

未来創造応用 A (IT 情報)

履修学科	普通科（未来創造コース）
履修学年	第2学年
履修形態	必修
履修単位	2単位
教科書	

学期・月		項目	ねらい・教材など
前期 中間	4	<ul style="list-style-type: none"> ・メモ帳でホームページを作ってみよう ～HTMLの基礎～ 	<ul style="list-style-type: none"> ・プログラミングの入門としてHTMLの基礎を学習し、オリジナルのホームページを作成することにより、プログラマー、WEBデザイナー、情報の発信におけるモラルやマナーを身に付ける。
	5		
	6		
前期 期末	7	<ul style="list-style-type: none"> ・エクセルのマクロを使って簡単なゲームを作ってみよう ～VBAプログラミングの基礎～ 	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な表計算ソフト「エクセル」を使って基本的なプログラミングを学習し、アルゴリズムなど論理的な思考を身に付けるとともに、社会人として仕事におけるエクセルの効率的な使い方、ゲームクリエイターやアプリケーション開発について体験する。
	8		
	9		
後期 中間	10	<ul style="list-style-type: none"> ・HTMLを使って商品紹介ホームページを作成しよう ～情報発信の基礎～ 	<ul style="list-style-type: none"> ・前期で作成したアプリケーションを紹介するホームページを作成することにより、商品分析、広告宣伝業務について触れ、情報を発信する際の工夫の仕方を学習する。
	11		
	12		
後期 期末	1	<ul style="list-style-type: none"> ・パワーポイントを使って気になるニュースを解説しよう ～プレゼンテーションの基礎～ 	<ul style="list-style-type: none"> ・プレゼンテーションソフト「パワーポイント」を利用し、情報をいかに相手にわかりやすく伝えるか、パワーポイントの活用法を学習し、それを発表することでプレゼン能力の向上を図る。
	2		
	3		

評価の割合	レポート点 50% 実技点 40% 平常点 10%				
考査の実施	定期考査期間には実施しない				
平常点の評価 (10点)	主な評価内容	評価の観点			
		関心・意欲 態度	思考・判断 表現	技能	知識・理解
	1 授業態度	○			○
	2 出席状況	○			
	3 課題提出	○	○	○	○
4 レポート・小テスト	○	○	○		
留意事項	プログラミングは基本的にアルファベットを使用します。				

【教養】

未来創造応用 A

(健康福祉領域)

履修学科	普通科（未来創造コース）
履修学年	第2学年
履修形態	必修
履修単位	2単位
教科書	

学期・月		項目	ねらい・教材など
前期中間	4	<ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーション（授業内容・職業） ・健康って何だろう ・医療事務について ・こんなときどうする ・健康維持・増進 ・まとめ・レポート・オリエンテーション 	<ul style="list-style-type: none"> ・「福祉」について理解する。 ・人の体や病気について知り、健康増進につながる様々な事を学ぶ。 ・家庭での病気の対応を知る。
	5		
	6		
前期期末	7	<ul style="list-style-type: none"> ・生活アクティビティとレクリエーション ・病人食・介護食体験 ・援助的コミュニケーション方法論 ・家でできるケア ・まとめ・レポート 	<ul style="list-style-type: none"> ・人との関わりや方法を学び、実践できるよう実習を取り入れながら学習する。 ・各年代を支える仕事を知る。
	8		
	9		
後期中間	10	<ul style="list-style-type: none"> ・障害について ・福祉とことば ・自助具を作ろう ・福祉住環境 ユニバーサルデザイン ・健康づくりとレクリエーション ・防災について 	<ul style="list-style-type: none"> ・障害について学び、理解する。 ・福祉用具や福祉環境を知り、体験しながらユニバーサルについて考える。 ・レクリエーションについて学び、内容を考える。
	11		
	12		
後期末	1	<ul style="list-style-type: none"> ・口腔衛生 ・心理学と自己分析 ・セラピストの仕事 ・こどもに関わる仕事 ・まとめ・レポート 	<ul style="list-style-type: none"> ・人間の心理について学び、自分を知る。 ・福祉のしごとについて知る。
	2		
	3		

評価の割合	レポート・実技点70% 平常点30%				
考査の実施	定期考査期間には実施しない				
平常点の評価 (30点)	主な評価内容	評価の観点			
		関心・意欲 態度	思考・判断 表現	技能	知識・理解
	1 授業態度	○		○	○
	2 出席状況	○			
	3 課題提出	○	○	○	○
	4 レポート・小テスト		○	○	○
留意事項	項目の内容は前後することがあります。				

【教養】

未来創造応用 A

(ミュージック領域)

履修学科	普通科 (未来創造コース)
履修学年	第2学年
履修形態	必修
履修単位	2単位
教科書	

学期・月		項目	ねらい・教材など
前期 中間	4	・オリエンテーション	・興味がある分野の仕事について調べる。
	5	・音楽が関わっている仕事について	・医療・福祉・保育などの現場で活躍している仕事、 また癒しとしての音楽の世界を学ぶ。
	6	・音楽と職業について① 音楽療法等について・講話と実践(外部講師) ・ヴォーカル (実技) ・鑑賞	・ヴォーカル体験で自己表現を学ぶ。
前期 期末	7	・音楽と職業について② エンタメ系の講話と実践 (外部講師)	・エンタテインメントの世界からミュージックの かわりかかわりを考える。
	8	・鑑賞	・ミュージカル映画を通して表現力や舞台裏を 学ぶ。
	9	・ミュージカル公演舞台裏見学 ・前期のまとめ	・リハーサルを見学し、体感する。 ホールや施設、舞台裏の見学
後期 中間	10	・日本の歌謡曲やJ・POPの歴史や音楽理論 (楽典) について	・歌謡曲～J・POPまでの流れを知る。
	11	キーボード(実技)	・童謡の弾き歌いや連弾を体験する。
	12	・ギター体験 ・連弾アンサンブル	・基礎的なメロディ、コードを学ぶ ・連弾を通してコミュニケーションと表現を学ぶ。
後期 期末	1	・連弾アンサンブル発表	・歌謡曲～J・POPまでの流れを知る。
	2	・ミュージックに関する映画鑑賞	・ミュージックに関するドキュメンタリー的な映画
	3	・一年間のまとめ	・まとめのレポート

評価の割合	レポート・実技点・小テスト80% 平常点20%				
考査の実施	定期考査期間には実施しない				
平常点の評価 (20点)	主な評価内容	評価の観点			
		関心・意欲 態度	思考・判断 表現	技能	知識・理解
	1 授業態度	○		○	○
	2 出席状況	○			
	3 課題提出	○	○	○	○
4 レポート・小テスト	○	○	○	○	
留意事項	レポート提出が評価の中心です。				

【教養】

未来創造応用 B

(ビューティー領域)

履修学科	普通科 (未来創造コース)
履修学年	第2学年
履修形態	必修
履修単位	2単位
教科書	

学期・月		項目	ねらい・教材など
前期 中間	4	<ul style="list-style-type: none"> カット実習 スタイリング実習 (ブロー、アイロン) セッティング技術 (三つ編み、編み込み) メイクアップ技術 (ナチュラルメイク) 	<ul style="list-style-type: none"> 理容師、美容師、ビューティー系の仕事について知る。 実習を通して技術を体験する。
	5		
	6		
前期 期末	7	<ul style="list-style-type: none"> 浴衣着付け ヘアアレンジ実習 ネイル技術 	<ul style="list-style-type: none"> 理容師、美容師、ビューティー系の仕事について知る。 実習を通して技術を体験する。
	8		
	9		
後期 中間	10	<ul style="list-style-type: none"> ワインディング技術 美容の社会貢献活動 エステティック技術 (ハンドエステ) 	<ul style="list-style-type: none"> 理容師、美容師、ビューティー系の仕事について知る。 実習を通して技術を体験する。
	11		
	12		
後期 期末	1	<ul style="list-style-type: none"> ヘアカラー実習 まつ毛エクステンション技術 流行メイク演習 	<ul style="list-style-type: none"> 理容師、美容師、ビューティー系の仕事について知る。 実習を通して技術を体験する。また、学んだことを今後の進路に役立てる。
	2		
	3		

評価の割合	レポート・実技点70% 平常点30%				
考査の実施	定期考査期間には実施しない				
平常点の評価 (30点)	主な評価内容	評価の観点			
		関心・意欲 態度	思考・判断 表現	技能	知識・理解
	1 授業態度	○		○	○
	2 出席状況	○			
	3 課題提出	○	○	○	○
4 レポート・小テスト	○	○		○	
留意事項					

【教養】

未来創造応用 B

(栄養領域)

履修学科	普通科（未来創造コース）
履修学年	第2学年
履修形態	必修
履修単位	2単位
教科書	なし

学期・月		項目	ねらい・教材など
前期 中間	4	・オリエンテーション（内容・実習・職業観）	<ul style="list-style-type: none"> ・栄養を学ぶことで就くことが可能な職業について知る ・食事は、栄養を供給し生命の維持や健康の増進を図るための大切な行為であることを理解し、自分の食生活を振り返る。 ・食べ物がどのように栄養になるのかを知る。
	5	・私の食生活	
	6	・体内に入った食べ物の動き	
前期 期末	7	・栄養素の種類と働き	<ul style="list-style-type: none"> ・栄養素の種類と働きについて知識を習得する。 ・食物の特徴、取り扱い方を学ぶ。 ・世界の調理の特徴を知る。
	8	・食物の基礎を学ぶ	
	9	・世界の料理	
後期 中間	10	・乳幼児食について	<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児から高齢期までの各ライフステージ毎の体の状態を理解し、その時に必要な栄養の特徴、食生活上の留意点などを知り、実習などを通して理解を深める。 ・栄養士としての知識をどのように生かしていくかを知る。
	11	・病人食	
		・栄養士の学び	
後期 期末	12	・テーブルマナー	<ul style="list-style-type: none"> ・食事を提供するときの雰囲気づくりが食卓にどう影響するかを学ぶ。 ・実際のテーブルセッティングの方法などを体験する。 ・栄養士の方の職場を知り、理解を深める。
	1	・テーブルコーディネート	
	2	・調理の現場を知る	
	3	・まとめ	

評価の割合	レポート・実技点 70% 平常点 30%				
考査の実施					
平常点の評価 (20点)	主な評価内容	評価の観点			
		関心・意欲 態度	思考・判断 表現	技能	知識・理解
	1 授業態度	○	○	○	○
	2 出席状況	○			
	3 課題提出	○		○	○
4 小テスト		○	○	○	
留意事項					

【教養】

未来創造応用 B

(CG デザイン領域)

履修学科	普通科（未来創造コース）
履修学年	第2学年
履修形態	必修
履修単位	2単位
教科書	

学期・月		項目	ねらい・教材など
前期 中間	4	・オリエンテーション ・CG・デザインとは何か	<ul style="list-style-type: none"> ・CG・デザインの概念を理解する。 ・CG・デザインの仕事の広がりを理解する。 ・PCの基本操作を理解する。
	5	・職業理解	
	6	・PC、デザインツールの基本操作 ・デザインツールを知る ・まとめ・レポート	
前期 期末	7	・デザイン概論 ・CG・デザインの作品鑑賞	<ul style="list-style-type: none"> ・デザインの基本的なルールを学習する。 ・実際にデザイナーが使用するツールを使ってデザインプロセスを体験する。 ・3DCG ソフトを使ったモデリングを体験する。
	8	・Illustrator を使った制作実習	
	9	・3DCG 制作体験 ・まとめ・レポート	
後期 中間	10	・CG・デザインの作品鑑賞	<ul style="list-style-type: none"> ・実際にデザイナーが使用するツールを使ってデザインプロセスを体験する。 ・アニメーションの基本原理を理解し、どのように使われているかを学ぶ。
	11	・PhotoShop の使い方 ・PhotoShop、Illustrator を使った制作実習	
	12	・アニメーションについて	
後期 期末	1	・アニメーション制作実習	<ul style="list-style-type: none"> ・実際にアニメーション制作を体験する。 ・CG・デザインの分野がテクノロジーと結びつき、どのような表現ができるかについて考える。
	2	・CG・デザインとテクノロジー	
	3	・まとめ・レポート	

評価の割合	課題評価点（小テスト・レポートを含む）80%、平常点 20%				
考査の実施	定期考査期間には実施しない				
平常点の評価 (20点)	主な評価内容	評価の観点			
		関心・意欲 態度	思考・判断 表現	技能	知識・理解
	1 授業態度	○		○	○
	2 出席状況	○			
	3 課題提出	○	○	○	○
4 レポート・小テスト		○	○	○	
留意事項	各項目の内容は前後することがあります。 実技課題の取り組みが評価に大きく影響します。				

【教養】

未来創造応用 B

(ビジネス領域)

履修学科	普通科 (未来創造コース)
履修学年	第2学年
履修形態	必修
履修単位	2単位
教科書	

学期・月		項目	ねらい・教材など
前期 中間	4	<ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーション「伝える」と「伝わる」 ・働くとはどんなことか 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分らしい働き方は必要なのか、働く意義、働くことは楽しいことなのかを考えさせる。
	5		
	6		
前期 期末	7	<ul style="list-style-type: none"> ・自分らしい働き方 ・自分らしさ 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分らしさをみつけ、どのような働き方をしたいのか、どんな仕事をしたいのか、どんな大人になりたいのかを考えさせる。
	8		
	9		
後期 中間	10	<ul style="list-style-type: none"> ・ビジネスマナー 1 	<ul style="list-style-type: none"> ・ビジネスマナーについて学ぶ。
	11		
	12		
後期 期末	1	<ul style="list-style-type: none"> ・ビジネスマナー 2 	<ul style="list-style-type: none"> ・ビジネスマナーについて学び、見聞を広める。
	2		
	3		

評価の割合	課題評価点 (小テスト、レポート含む) 70% 平常点 30%				
考査の実施	定期考査期間には実施しない				
平常点の評価 (30点)	主な評価内容	評価の観点			
		関心・意欲 態度	思考・判断 表現	技能	知識・理解
	1 授業態度	○			○
	2 出席状況	○			
	3 課題提出		○	○	○
4 レポート・小テスト		○	○	○	
留意事項					

【教養】

未来創造応用 B

(健康スポーツ領域)

履修学科	普通科（未来創造コース）
履修学年	第2学年
履修形態	必修
履修単位	2単位
教科書	

学期・月	項目	ねらい・教材など	
前期中間	4	<ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーション ・スポーツに関する職業について ・スポーツトレーニングについて ・テーピングについて（実技テスト） ・在仙プロスポーツ職場体験・講義など 	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツに関わる職業・資格について知る ・スポーツにおけるアップの仕方やストレッチについての知識や技術について学ぶ。 ・テーピングの知識を理解し、技術を習得する。 ・プロスポーツの施設の仕事や実際の話聞き、理解する。
	5		
	6		
前期末	7	<ul style="list-style-type: none"> ・メンタルトレーニングについて ・スポーツ系学校見学 ・評価（筆記試験） ・体幹トレーニング 	<ul style="list-style-type: none"> ・メンタルトレーニングの知識を理解する。 ・スポーツ系専門学校を訪問し、学校の特色などを理解する ・体幹トレーニングについて知識や技術を学ぶ。
	8		
	9		
後期中間	10	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ栄養について ・応急処置・救急救命について ・体育学（体のづくり・筋肉の動かし方） ・在仙プロスポーツ職場体験・講演 	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツにおける食事や栄養の摂取の仕方や大切さを学ぶ。 ・応急手当の知識を理解し、心肺蘇生法やAEDの使用の仕方などを学ぶ。 ・人間の体の仕組みや筋肉の動かし方について学ぶ。 ・実際のプロスポーツに携わっている人の話を聞く
	11		
	12		
後期末	1	<ul style="list-style-type: none"> ・大会運営について ・評価（筆記試験） ・体育・スポーツ系大学説明会 ・スポーツ系学校見学 ・体育・スポーツ系専門学校を説明会 	<ul style="list-style-type: none"> ・実際の競技の運営に携わり大会を実施する。（役割分担・トーナメント・対戦表作成・運営） ・スポーツ系大学などの特色を知り進路に役立てる。 ・スポーツ系専門学校を訪問し理解する。 ・スポーツ系専門学校などの特色を知り進路に役立てる。
	2		
	3		

評価の割合	課題評価点（実技・小テスト・レポートを含む）70%、平常点 30%				
考査の実施	定期考査期間には実施しない				
平常点の評価 (30点)	主な評価内容	評価の観点			
		関心・意欲 態度	思考・判断 表現	技能	知識・理解
	1 授業態度	○			
	2 出席状況	○			
	3 課題提出	○	○	○	○
4 小テスト		○	○	○	
留意事項					

【教養】

未来創造応用 B

(ファッション領域)

履修学科	普通科（未来創造コース）
履修学年	第2学年
履修形態	必修
履修単位	2単位
教科書	

学期・月		項目	ねらい・教材など
前期中間	4	・オリエンテーション・職業について	<ul style="list-style-type: none"> ・職種の紹介（ファッションに関わる仕事）。 ・流行の流れについて知り、ファッションへの影響を理解する。 ・販売員としての心構えや、良好な人間関係の構築の必要性と資質を知る。
	5	・流行とはなにか	
	6	・布を作るとは ・販売と接客マナー ・消費者の心をつかむには	
前期期末	7	・服ができるまで関わる仕事	<ul style="list-style-type: none"> ・服ができるまでの行程を理解し、制作するまで関わる仕事について知る。 ・体型の特徴を知り、採寸方法を身につける。 ・日本特有の手仕事文化を知る。
	8	・体型に合った衣服の特徴と選択	
	9	・ハンドメイド作家とは	
後期中間	10	・繊維と手入れ	<ul style="list-style-type: none"> ・最新の繊維を知り、汚れの種類と手入れの仕方を修得する。 ・衣服だけではアパレルは成り立たないということを知り、アクセサリーの種類などを知る。 ・アクセサリーをデザインし、制作する。
	11	・アクセサリーとアパレル	
	12	・アクセサリーを作る	
後期期末	1	・VMD	<ul style="list-style-type: none"> ・VMD という職種を知り、演習する。 ・まとめ
	2	・ファッションの仕事のまとめ	
	3		

評価の割合	レポート・実技点70% 平常点30%				
考査の実施	定期考査期間には実施しない				
平常点の評価 (30点)	主な評価内容	評価の観点			
		関心・意欲 態度	思考・判断 表現	技能	知識・理解
	1 授業態度	○		○	○
	2 出席状況	○			
	3 課題提出	○	○	○	○
4 レポート・小テスト	○	○	○	○	
留意事項					

総合的な探究の時間

テーマ「進路探究」

履修学科	普通科, 美術デザイン科
履修学年	第2学年
履修形態	必修
履修単位	1単位
テキスト	進路サポート タイプⅠ 普通科 特別進学 タイプⅡ 普通科 未来創造 保育 進学 美術・デザイン科

学期・月	項目	ねらい・教材など
前期中間	4 ○進路サポート演習	2年生ねらい 社会を知り, 自分と社会のかかわりのなかで進路を考える。 ・具体的な進路を自分の興味・関心から考える。 ・社会と学問の関わりについて調べる。 大学での学びを体験し, 進路探究を深める。 医療従事者としての心構えや資質を学ぶ。
	5 ○高大連携模擬授業1 ○看護医療講習	
	6 ○進路サポート演習	
前期期末	7 ○進路サポート演習	・学びたいことから学部・学科を考える。(タイプⅠ) 学びたいこと・やりたい仕事から考える。(タイプⅡ) ・志望校の選び方を知る。(タイプⅠ) 進学・就職を選択する。(タイプⅡ) 大学での学びを体験し, 進路探究を深める。 医療従事者としての心構えや資質を学ぶ。
	8 ○高大連携模擬授業2 ○看護医療講習	
	9 ○テーマ別講話1・2 ○進路サポート演習 ○小論文演習 テーマ・自己PR・志望理由 ○進路探究レポート提出 「志望理由書・自己PR」	
後期中間	10 ○進路サポート演習	各分野の現代社会の問題点を取り上げ, 興味・関心を深める。 ・学んだことを社会に生かすかを考える。(タイプⅠ) ・自分の進路を実現するために必要なことを考える。(タイプⅡ) ・探究してきた進路を整理する。 ・人に自分の考えを伝えるための技術を学ぶ。 ①書く条件の把握 ②社会への意識の高さ(志望理由書) ②自己分析の客観性(自己PR) ③進路探究の深まり ④論理性 ⑤構成・表記
	11 ○進路探究レポート提出	
	12 「志望理由書・自己PR」	
学年末	1 ○進路探究レポート振り返り	・探究してきた進路について整理する。
	2 ○ポートフォリオまとめ	
	3 ○1年間のまとめ	

評価の割合	所見による評価			
考査の実施	なし			
評価	主な評価内容	評価の観点		
		知識及び理解	思考力・判断力・表現力等	主体的に学習に取り組む態度
	1 授業態度	○	○	○
	2 出席状況			○
	3 ワーク・テスト・レポート	○	○	○
4 ポートフォリオ	○	○	○	
留意事項	・「継続は力なり」です。授業を休まないように心掛けてください。 ・学習計画は, 進路状況によって実施時期や内容を変更する場合があります。			